



自然観察会

# 春日井市 環境報告書 2021年度版



地球温暖化防止啓発パネル展

春日井工業高等学校(現 春日井工科高等学校)の生徒作製のEVカー



環境絵画コンクール春日井市長賞作品

春日井市環境基本計画  
春日井市地球温暖化対策実行計画

## 目 次

### 第1部 環境基本計画の実施状況

	ページ
第1章 環境基本計画の概要	1
第2章 数値目標	1
第1節 雨水浸透率	2
第2節 みどり率	4
第3節 ごみ廃棄量	6
第4節 温室効果ガス排出量	8
第5節 環境基準達成率	10
第6節 環境まちづくり参加人数	12
第3章 重点的取組み	13
第1節 地球環境を保全する	13
第2節 自然を守り自然に親しむ	19
第3節 ごみを減らし資源を有効に活用する	23
第4節 市民と事業者、行政が協働して環境まちづくりを進める	25

### 第2部 地球温暖化対策実行計画の実施状況

	ページ
第1章 地球温暖化対策実行計画の概要	31
第2章 温室効果ガス排出量	32
第1節 温室効果ガス排出量の推移	32
第2節 温室効果ガス排出量増減の主な要因	33
第3章 主な取組み	34
第1節 緩和策 (温室効果ガス削減に向けた取組み)	34
第2節 適応策 (気候変動の影響に対処する取組み)	39
第4章 成果指標の進捗状況	巻末

# 第1部 環境基本計画の実施状況

## 環境報告書とは

環境報告書は、計画の進行管理を適切に行うため作成しており、環境基本計画に基づく環境目標の実現に向けて実施した取組みと、地球温暖化対策実行計画に基づく温室効果ガス削減目標の達成に向けて実施した取組みをまとめたものです。

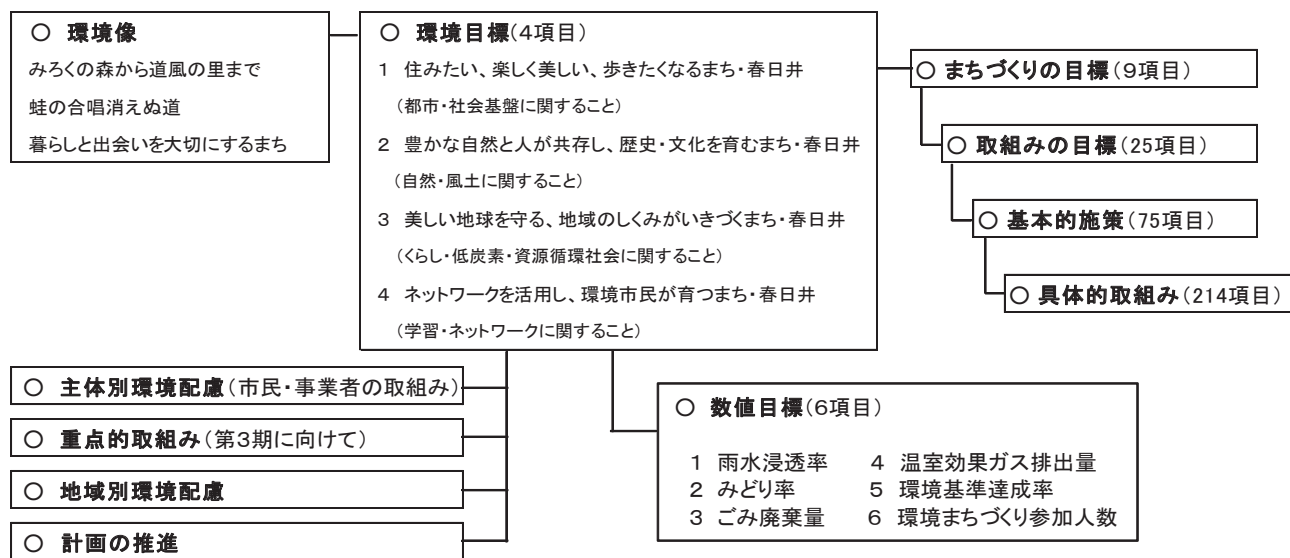
取組み一覧をとりまとめた別冊資料等については、以下の春日井市ホームページでご覧いただけます。(市ホームページ:<https://www.city.kasugai.lg.jp/shimin/gomi/houkoku/index.html>)



QRコードを読み込んで春日井市HPへアクセス

## 第1章 環境基本計画の概要

### ○計画の体系



第1部

環境基本計画の実施状況

## 第2章 数値目標

4つの環境目標の実現に向け、目標の達成状況を分かりやすいものにするため、6つの数値目標を設定しています。2020年度(令和2年度)の数値目標の達成状況は、次のとおりです。

項目	基準年度	数値目標		2020年度
雨水浸透率	—	0.36 以上		0.367
みどり率	—	将来市街地	10%以上	24.3%
		市域全体	30%以上	40.6%
ごみ廃棄量 <sup>※</sup>	2010年度	ごみ排出量	130g削減 (1人1日あたり)	43g削減
		家庭系ごみ排出量	15%削減	13.7%削減
		事業系ごみ排出量	20%削減	1.8%増加
温室効果ガス排出量 <sup>※</sup>	2008年度	市内全域	17%削減	6.2%削減 (2019年度実績)
環境基準達成率	—	大気6項目、水質4項目、騒音2項目における各項目の達成状況	各項目で100%達成	11項目達成
環境まちづくり参加人数	—	イベント等への参加人数	総人口の10%	5.2%

※「ごみ廃棄量」「温室効果ガス排出量」の数値目標は2019年3月に「ごみ処理基本計画」「地球温暖化対策実行計画」を改定したことに伴い変更となりました。改定後の数値目標等について「ごみ廃棄量」は別に公表している「ごみ処理基本計画」、「温室効果ガス排出量」は本報告書31ページをご覧ください。

## 第1節 雨水浸透率

環境目標1: 「住みたい、楽しく美しい、歩きたくなるまち・春日井」に関する数値目標

市域全体での雨水浸透率 0.36以上

雨水浸透率は、水循環を表す指標の一つで、水害の防止、ヒートアイランド現象の緩和、地下水の保全に関わるものです。森林、農地の保全及び宅地・道路の浸透能力の向上を図ることによって、雨水浸透率の確保をめざします。

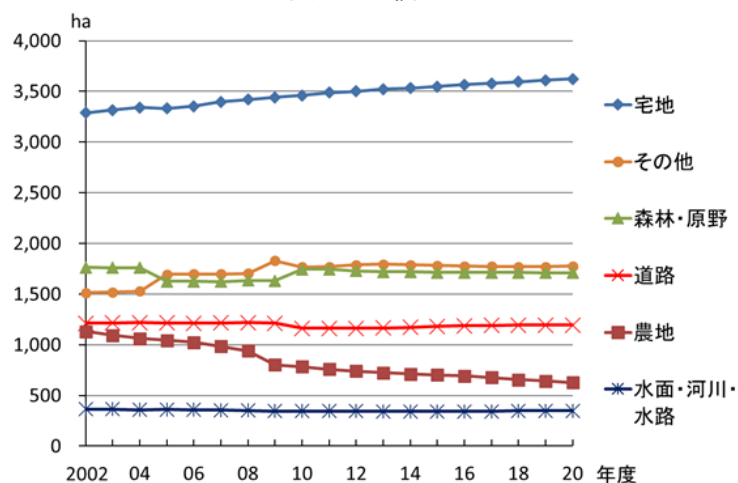
### ○ 2020年度 土地利用別雨水浸透率

土地利用種別		基準浸透率	面積(ha)	基準浸透率 ×面積
宅地	建ぺい地	0.0	1,050.7	0.0
	その他	0.2	2,572.3	514.5
農地	田	0.8	327.0	261.6
	畑	0.8	299.0	239.2
森林・原野		0.8	1,712.0	1,369.6
道路		0.1	1,194.0	119.4
水面・河川・水路		0.0	348.0	0.0
その他		0.5	1,775.0	887.5
計			9,278	3,391.8

①

②

土地利用別面積



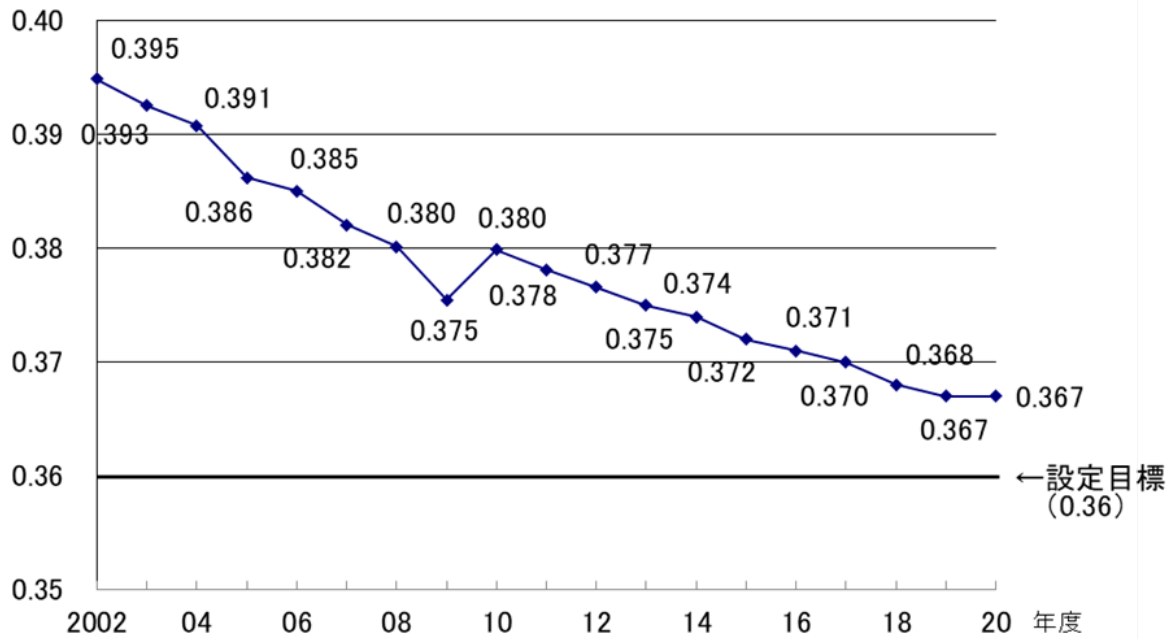
### ○ 2020年度 透水性舗装における雨水浸透率

実施区分		基準浸透率	面積(ha)			基準浸透率 ×面積
			2002~2019年度	2020年度	累計	
道路対策	歩道	0.7	10.06	0.29	10.35	7.24
駐車場対策	公共	0.7	1.81	0.00	1.81	1.27
公園対策	公共	0.7	1.47	0.16	1.63	1.14
計			13.79		13.79	9.65

③

$$\text{雨水浸透率} = \frac{\text{②} + \text{③}}{\text{①}} = \frac{3,391.8 + 9.65}{9,278} = 0.367$$

## 雨水浸透率



※2010年度は集計方法の見直しにより、道路、その他に分類されていた土地(約100ha)が森林・原野(国有林)として集計されたため上昇。

### ○ 結果

雨水浸透率は、土地利用別雨水浸透率と透水性舗装における浸透率の和で算出され、2020年度は、0.37(0.367)でした。

雨水浸透率を経年変化で見ると、2002年度(平成14年度)以降、減少傾向で推移しています。

## 第2節 みどり率

環境目標2: 「豊かな自然と人が共存し、歴史・文化を育むまち・春日井」に関する数値目標

将来市街地でみどり率10%以上、市域全体でみどり率30%以上

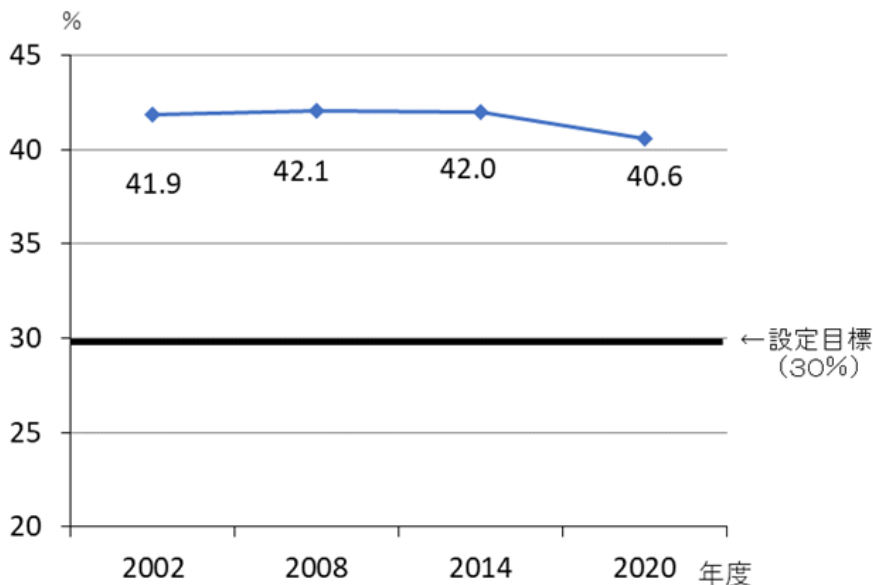
みどり率は、森林、農地、草地などの緑の量を表す指標の一つで、生物の生息環境など自然に関わるものです。緑は、都市化によって減少しますが、森林、農地の保全や市街地における緑化の推進により、みどり率の確保をめざします。

○ みどり率（2020年8月の航空写真を基に算出したもの）

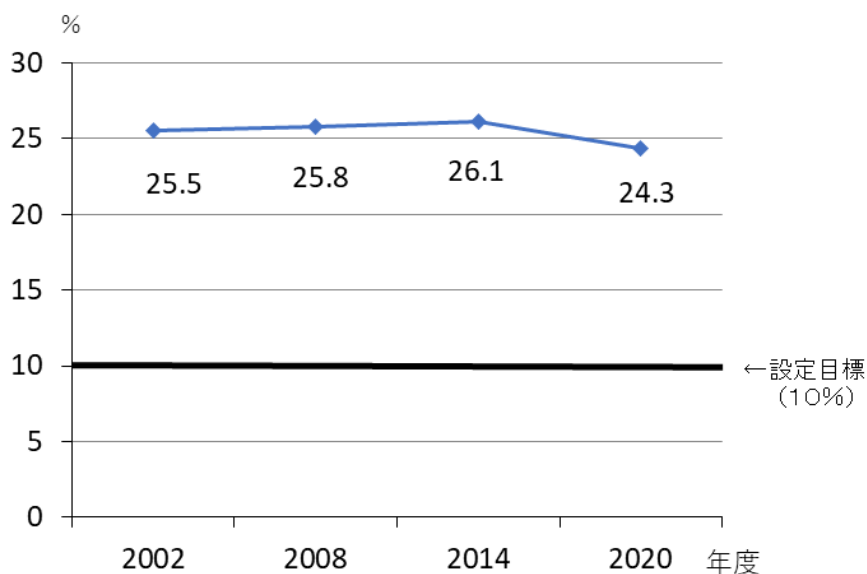
区分	市域全体	将来市街地 <sup>※</sup>
樹林地	2,218.6ha	599.2ha
竹林	60.7ha	24.5ha
街路樹	37.4ha	34.1ha
芝地	267.0ha	158.1ha
草地	443.5ha	309.1ha
水田	349.5ha	156.7ha
畑	288.8ha	172.7ha
果樹園	97.2ha	67.2ha
その他農地	1.4ha	0.9ha
緑地計	3,764.1ha	1,522.5ha
全面積	9,278ha	6,267ha
みどり率	40.6%	24.3%

※将来市街地とは、現在の市街化区域に加え、総合計画で位置づけられた市街地開発事業等の予定区域、市街化調整区域の人口集中地区、及びこれらに隣接する市街化調整区域の住宅団地等を示します。

みどり率(市域全体)



みどり率(将来市街地)



○ 結果

みどり率は、航空写真から緑と認められるものを算出します。2020年度に算出した結果(2020年8月に撮影した航空写真を基に算出したもの)は、市域全体で40.6%、将来市街地で24.3%であり、ともに目標値を達成しています。

### 第3節 ごみ廃棄量

環境目標3: 「美しい地球を守る、地域のしくみがいきづまち・春日井」に関する数値目標

1人1日当たりのごみ排出量	130g削減	} 2010年度(平成22年度)比
家庭系ごみ排出量	15%削減	
事業系ごみ排出量	20%削減	

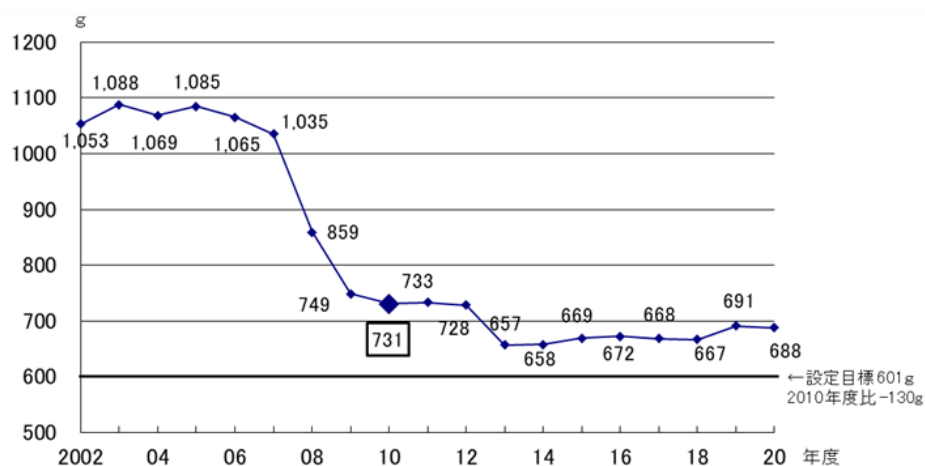
市が収集(処理)したごみから資源として回収された量を除いたものをごみ排出量とし、ごみの減量やリサイクルを進めることにより、ごみ排出量の削減をめざします。

#### ○ 2020年度の状況

項目	合計
① ごみ総収集量	92,488 t
② 処理過程資源回収量*	4,515 t
③ 資源収集量	10,076 t
④ ごみ量(①-②-③)	77,897 t
⑤ 総人口(2021年4月1日現在)	310,317 人
⑥ 1人1日当たりのごみ排出量	688 g/人・日 (2010年度比 -43g)

\*クリーンセンターでの処理過程において発生した資源量

#### 1人1日当たりのごみ排出量

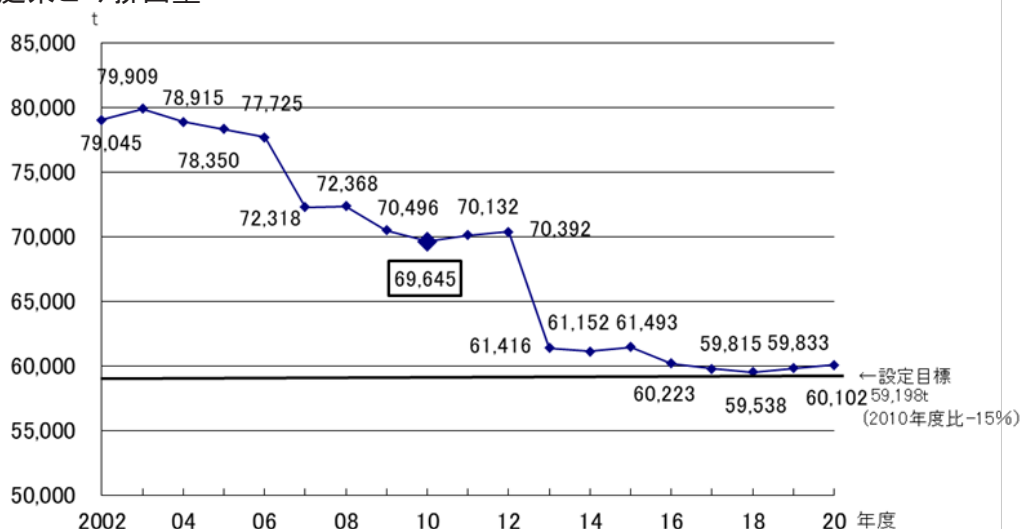


#### ○ 2020年度 家庭系ごみ排出量及び事業系ごみ排出量

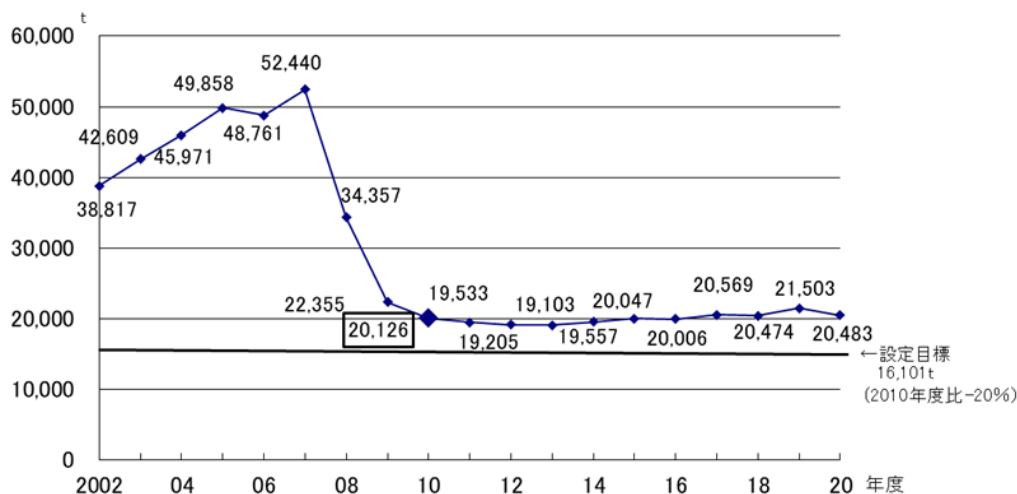
項目	2010年度 (基準年度)	2020年度	増減率 (基準年度比)
① 家庭系ごみ排出量	69,645 t	60,102 t	-13.7%
② 事業系ごみ排出量	20,126 t	20,483 t	1.8%



① 家庭系ごみ排出量



② 事業系ごみ排出量



○ 結果

2020年度の1人1日当たりのごみ排出量は688gであり、基準年度(731g)と比べ43gの削減となっています。

2020年度の家庭系ごみ排出量は、60,102tであり、基準年度(69,645t)と比べ、13.7%の削減となっています。

また、2020年度の事業系ごみ排出量は、20,483tであり、基準年度(20,126t)と比べ、1.8%の増加となっています。

2019年(平成31年)3月に改定したごみ処理基本計画では、1人1日当たりごみ排出量を2017年度(平成29年度)比で2028年度(令和10年度)までに47g削減するなど5つの目標を掲げています。

詳細については、「ごみ処理基本計画」をご覧ください。

<市ホームページ>

<https://www.city.kasugai.lg.jp/shimin/gomi/gomi/kihonkeikaku/index.html>

## 第4節 温室効果ガス排出量

環境目標3: 「美しい地球を守る、地域のしくみがいきづまち・春日井」に関する数値目標

市内全域の温室効果ガス排出量を17%削減(2008年度(平成20年度)比)

温室効果ガス排出量は、地球温暖化対策の効果を表す指標の一つです。各部門の排出量の総和とし、市民、事業者の協力により、削減をめざします。

### ○ 2019年度の温室効果ガス排出量

部門	2008年度 (基準年度)	2019年度		増減率 (基準年度比)	
	排出量(t-CO <sub>2</sub> )	排出量(t-CO <sub>2</sub> )	構成比		
二酸化炭素排出量	産業部門	760,955.3	726,223.5	40.6%	-4.6%
	民生家庭部門	304,993.1	266,732.1	14.9%	-12.5%
	民生業務部門	393,619.7	319,057.0	17.8%	-18.9%
	運輸部門	405,367.1	447,213.3	25.0%	10.3%
	廃棄物部門	31,310.5	21,565.3	1.2%	-31.1%
	小計 <sup>※1</sup>	1,896,245.6	1,780,791.2	99.5%	-6.1%
メタン排出量 <sup>※2</sup>	1,712.9	1,587.8	0.1%	-7.3%	
一酸化二窒素排出量 <sup>※2</sup>	10,116.3	7,444.2	0.4%	-26.4%	
温室効果ガス排出量合計	1,908,074.8	1,789,823.2	100.0%	-6.2%	

※1 四捨五入の関係で計が一致しない場合があります。

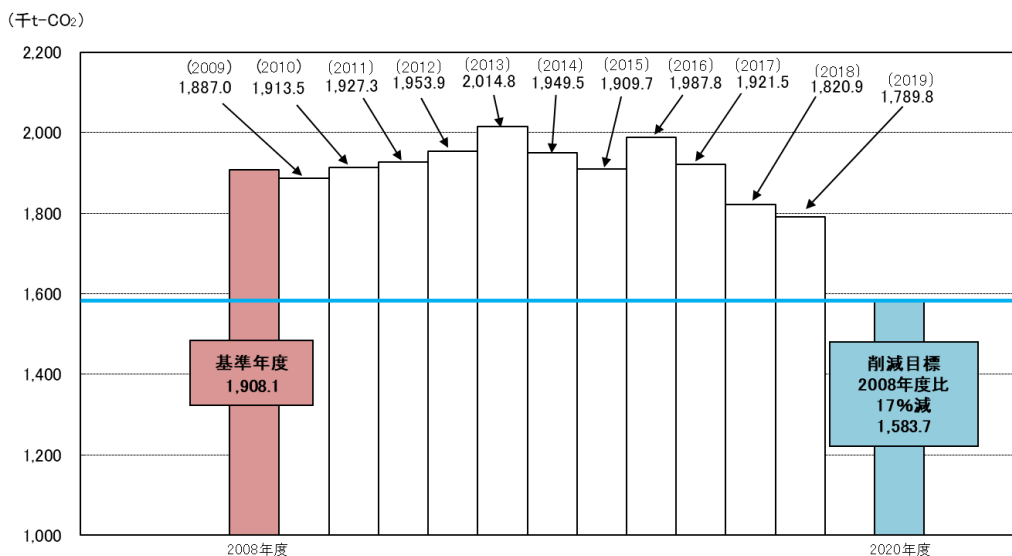
※2 メタン、一酸化二窒素の排出量は二酸化炭素排出量に換算。

### ○ 結果

2019年度(令和元年度)の温室効果ガス排出量は、1,789.8千t-CO<sub>2</sub>であり、基準年度(1,908.1千t-CO<sub>2</sub>)に比べ6.2%減少しています。

部門別二酸化炭素排出量は基準年度と比べ、運輸部門は増加し、産業部門、民生家庭部門、民生業務部門、廃棄物部門は減少しています。

## ○ 温室効果ガス排出量の推移



地球温暖化対策実行計画(2019-2030)では、温室効果ガス排出量について、基準年度を2013年度(平成25年度)、目標年度を2030年度(令和12年度)として、26%削減する目標を掲げています。

詳細については31ページ(第2部 地球温暖化対策実行計画の実施状況)をご覧ください。

## ○ 部門別二酸化炭素排出量の推移

部門名	(単位: 千t-CO <sub>2</sub> )												増減率 (基準年度比)
	2008年度 (基準年度)	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	
産業部門	761.0	716.7	721.9	704.9	730.9	750.1	754.7	727.3	799.7	770.9	752.8	726.2	-4.6%
民生家庭部門	305.0	311.2	329.8	343.4	337.3	336.9	316.2	299.8	310.5	292.0	269.6	266.7	-12.5%
民生業務部門	393.6	418.9	423.7	432.8	437.5	475.8	420.4	422.7	410.6	390.3	325.7	319.1	-18.9%
運輸部門	405.4	404.5	404.3	411.4	415.9	422.1	428.0	431.5	438.1	440.0	443.1	447.2	10.3%
廃棄物部門	31.3	26.1	24.5	25.3	23.1	20.8	21.0	19.1	19.5	19.3	20.8	21.6	-31.1%
二酸化炭素排出量※	1,896.2	1,877.4	1,904.0	1,917.8	1,944.8	2,005.6	1,940.3	1,900.3	1,978.4	1,912.5	1,812.0	1,780.8	-6.1%

※ 四捨五入の関係で計が一致しない場合があります。



○ 2020年度 環境基準達成状況

指標		区分	測定値	単位	環境基準等	適合地点数 測定地点数	達成率(%)	適合 可否	
大 気	① 二酸化硫黄(SO <sub>2</sub> ) 日平均の2%除外値		0.007、0.000	ppm	日平均の2%除外値が0.04ppm以下であること。ただし、日平均0.04ppmを超えた日が2日以上連続しないこと。	2/2	100	○	
		超過日数	0	日					
	② 二酸化窒素(NO <sub>2</sub> ) 日平均値の年間98%値		0.013~0.032	ppm	日平均の年間98%値が0.06ppm以下であること。	4/4	100	○	
	③ 浮遊粒子状物質(SPM) 日平均の2%除外値		0.032~0.033	mg/m <sup>3</sup>	日平均の2%除外値が0.10mg/m <sup>3</sup> 以下であること。ただし、日平均0.10mg/m <sup>3</sup> を超えた日が2日以上連続しないこと。	4/4	100	○	
		超過日数	0	日					
	④ 一酸化炭素(CO) 日平均の2%除外値		0.36	ppm	日平均の2%除外値が10ppm以下であること。ただし、日平均10ppmを超えた日が2日以上連続しないこと。	1/1	100	○	
		超過日数	0	日					
	⑤ 揮発性有機化合物 濃度平均値	ベンゼン		0.0005~0.0011	mg/m <sup>3</sup>	1年平均値が0.003mg/m <sup>3</sup> 以下であること。	4/4	100	○
		トリクロロエチレン		<0.0003	mg/m <sup>3</sup>	1年平均値が0.13mg/m <sup>3</sup> 以下であること。	4/4		
		テトラクロロエチレン		<0.0003	mg/m <sup>3</sup>	1年平均値が0.2mg/m <sup>3</sup> 以下であること。	4/4		
ジクロロメタン			0.0010~0.0021	mg/m <sup>3</sup>	1年平均値が0.15mg/m <sup>3</sup> 以下であること。	4/4			
⑥ 大気中のダイオキシン類 平均値		0.014、0.018	pg- TEQ/m <sup>3</sup>	1年平均値が0.6pg-TEQ/m <sup>3</sup> 以下であること。	2/2	100	○		
水 質	⑦ 健康項目 (庄内川・市内中小河川)		全項目適合	—	27項目設定 <sup>※1</sup>	17/17	100	○	
	⑧ 生活環境項目 生物化学的酸素要求量(BOD)の 75%値(庄内川)		0.9~2.8	mg/L	2mg/L以下又は5mg/L以下 <sup>※2</sup> (河川区域による)	5/5	100	○	
	⑨ 同(BOD)の75%値 (市内中小河川)		0.8~7.1	mg/L	(市独自目標) 8mg/L以下	12/12	100	○	
	⑩ 健康項目(地下水)	メッシュ別調査	全項目適合	—	28項目設定 <sup>※3</sup>	1/1	100	○	
騒 音	⑪ 環境騒音(一般)	昼間	40~55	デシベル	55~60デシベル以下(地域による)	9/9	100	○	
		夜間	34~48	デシベル	45~50デシベル以下( // )	9/9	100		
	⑫ 環境騒音(自動車騒音)	昼間	65~72	デシベル	70デシベル以下	9,460/9,531	99.3 <sup>※4</sup>	×	
			75.3~100	%					
		夜間	60~69	デシベル	65デシベル以下	9,392/9,531	98.5 <sup>※4</sup>		
			50.0~100	%					

※1: カドミウム、全シアン、鉛、六価クロム、砒素、総水銀、アルギル水銀、PCB、ジクロロメタン、四塩化炭素、1,2-ジクロロエタン、1,1-ジクロロエチレン、1,1,1-トリクロロエタン、1,1,2-トリクロロエタン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、1,3-ジクロロプロペン、テトラム、シマジン、チオベンカルブ、ベンゼン、セレン、硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素、ふっ素、ほう素、1,4-ジオキサンの27項目。

※2: 庄内川の水域類型が見直され、庄内川各調査地点に適用される環境基準が変更された。(2020年3月31日)

※3: ※1のうち、シス-1,2-ジクロロエチレンに代わり、1,2-ジクロロエチレン、クロロエチレンを加えた28項目。

※4: 騒音⑫環境騒音(自動車騒音)の達成率は、対象とする全戸数の達成率。

○ 結果

2020年度は、大気、水質、騒音に関する全12項目の指標中、二酸化硫黄を始めとする11項目が達成しています。

## 第6節 環境まちづくり参加人数

環境目標4: 「美しい地球を守る、地域のしくみがいきづつまち・春日井」に関する数値目標

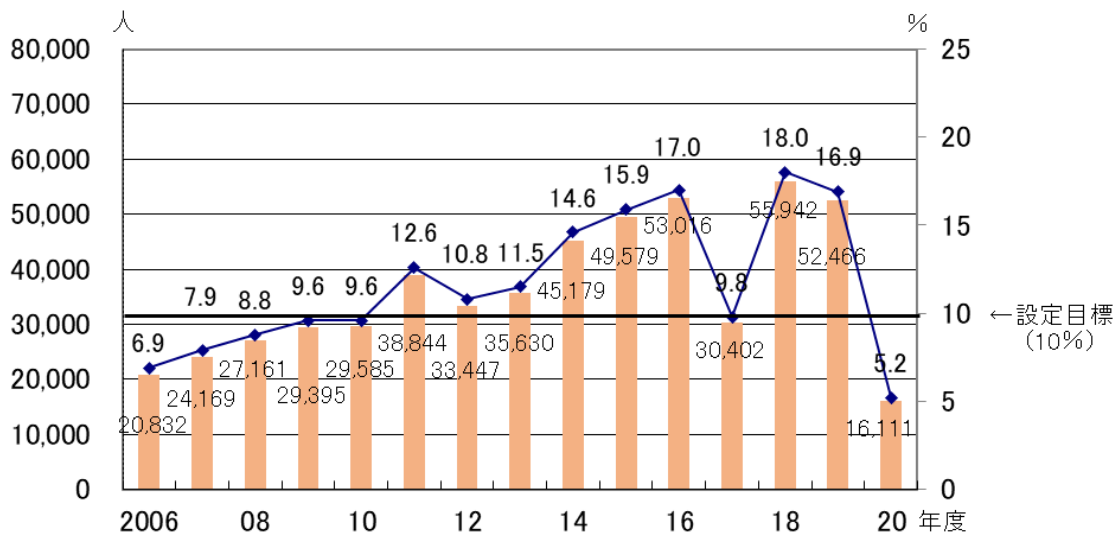
環境に関するイベント等への参加人数が、総人口の 10%以上

市民、事業者の参加による環境まちづくりの進み具合を表す指標の一つです。環境まちづくりへの参加を推進し、イベント等への参加者が増えることをめざします。

### ○ 2020 年度 環境まちづくり参加人数

分類		環境まちづくり参加人数 (総人口比)
1	環境に関するイベントなど	6,760 人
2	環境に関する講座など	6,399 人
3	環境に関連した市民団体など	734 人
4	その他環境に関する市民、事業者の活動	2,218 人
合計		16,111 人 (5.2%)

### 環境まちづくり参加人数



※2017 年度は悪天候のため、春日井まつりにおけるエコワールド(2019 年度は 18,097 人が参加)を中止。

※2020 年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、環境に関するイベント等が中止、または規模を縮小。

### ○ 結果

2020 年度の環境まちづくり参加人数は 16,111 人で、総人口 310,317 人(2021 年(令和3年)4月1日現在)に対し、5.2%となっており、目標値より4.8%低くなっています。

### 第3章 重点的取組み

#### 第1節 地球環境を保全する(低炭素社会)

##### (1)再生可能エネルギーの利用の促進

### 市民環境フォーラム

具体的取組み番号 119

#### 【取組み内容等】

市民の環境活動への取組みの推進と各団体や個人等の交流促進や環境情報を提供するため市民環境フォーラムを開催しています。

2020年度は、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により中止となりましたが、代替事業として、環境映画上映会や地球温暖化防止啓発パネル展の開催、かすがい環境賞及び環境絵画コンクール春日井市長賞表彰式を行いました。

また、2020年12月に開催した地球温暖化防止啓発パネル展では、愛知県立春日井工業高等学校(現 春日井工科高等学校)の生徒が作製したEVカーを展示しました。

次代を担う生徒が電気自動車を作製し、校外活動を通して、将来の地球環境やエネルギー問題を考えるきっかけづくりとなるよう啓発を行いました。



QRコードを読み込んで  
春日井市HPへアクセス

#### 市民環境フォーラム代替事業(2020年度)

事業名	開催日	場所	参加者	内容
環境映画上映会 「チェイシング・コーラル～消えゆくサンゴ礁～」	10月10日 (土)	文化フォーラム 春日井 視聴覚ホール	60人	環境保全と経済、社会との共生の在り方について考えるきっかけとするため、気候変動によるサンゴの白化現象を追い続けたドキュメンタリー映画を上映した。
地球温暖化防止啓発パネル展	12月11日 (金) ～12月17日 (木)	市役所1階 市民ホール	—	12月の「地球温暖化防止月間」に合わせて、学校や市民団体・事業者・行政の地球温暖化防止についての取組みや、環境について幅広い内容を紹介した。
かすがい環境賞 及び環境絵画コンクール春日井市長賞表彰式	12月13日 (日)	市役所1階 市民ホール	40人	○かすがい環境賞 個人：河合 成年、寺澤 朝子 団体：春日井おもちゃクリニック 上条スポーツ少年団育成会 ○環境絵画コンクール春日井市長賞 岡田 いぶき タイトル：「生き物たちのおしゃべり会♪」



地球温暖化防止啓発  
パネル展の展示



春日井工業高等学校の生徒作製の  
EVカー展示(地球温暖化防止啓発パネル展)



環境絵画コンクール  
春日井市長賞作品

【取組み内容等】

家庭でできる地球温暖化対策や環境に優しいライフスタイルへの転換、エネルギーの大切さについて学び、考えるきっかけづくりとして、毎年、エコライフセミナーを実施しています。

2020年度は、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により中止となりました。

過去の開催では、地球温暖化に関するミニ講座や、液体窒素を使った冷熱実験、果実（ブラックベリー）の色素を使った太陽電池の作製などを通して、楽しみながら、省エネの必要性などを学び実践を促しました。



地球温暖化に関するミニ講座



液体窒素を使った冷熱実験



果実の色素を使った太陽電池の作製

住宅用太陽光発電システム等の設置補助

【取組み内容等】

エネルギーを効率的に利用して節約する省エネ機器やエネルギーを創り出す創エネ機器、エネルギーを蓄えて、必要ときに利用できる蓄エネ機器等の設置に対し、補助を実施しました。

なお、1998年度(平成10年度)からの累計で、4,842件、22,390kWの太陽光発電システムに対し助成しました。それにより、年間約9,650t<sup>※1</sup>の二酸化炭素排出量の削減が見込まれます。



QRコードを読み込んで  
春日井市HPへアクセス

住宅用地球温暖化対策機器設置費補助件数

内容	2018年度	2019年度	2020年度
一体的導入 <sup>※2</sup>	—	72件	60件
太陽光発電システム(単体) <sup>※3</sup>	316件	—	—
燃料電池システム	116件	91件	82件
家庭用エネルギー管理システム	109件	45件	46件
定置用リチウムイオン蓄電システム	112件	111件	138件
窓断熱改修 <sup>※4</sup>	—	18件	15件

※1: 最大出力値×1,000×中部電力ミライズ(2020年度)の二酸化炭素排出係数0.431(kg-CO<sub>2</sub>/年)

※2: 2019年度より太陽光発電システム、家庭用エネルギー管理システム、定置用リチウムイオン蓄電システムの一体的導入補助を開始

※3: 太陽光発電システムの単体補助は2018年度まで

※4: 窓断熱改修の補助は2019年度から開始



【取組み内容等】

公共施設の屋根等を利用し、自然エネルギーを活用した太陽光発電システムの導入を進めるとともに、災害時の非常用の電源確保を図るなど公共施設の防災機能の向上にも努めています。

なお、本庁舎の太陽光発電システムによる2021年1月から2021年12月までの発電量の実績は25,074.3kWh(交流電力)であり、約11tのCO<sub>2</sub>を削減しました。

太陽光発電システム設置施設

No	施設名	設置年月	最大出力値	年間CO <sub>2</sub> 削減量 <sup>※1</sup>
1	介護サービスセンター	2000年2月	10.0 kW	4.3t-CO <sub>2</sub>
2	丸田小学校	2002年2月	30.0 kW	12.9t-CO <sub>2</sub>
3	勝川駅南口立体駐車場	2002年11月	6.5 kW	2.8t-CO <sub>2</sub>
4	出川小学校	2007年2月	30.0 kW	12.9t-CO <sub>2</sub>
5	小野保育園	2011年3月	5.0 kW	2.2t-CO <sub>2</sub>
6	少年自然の家	2012年3月	40.0 kW	17.2t-CO <sub>2</sub>
7	エコメッセ春日井	2012年3月	10.0 kW	4.3t-CO <sub>2</sub>
8	神領保育園	2013年3月	5.0 kW	2.2t-CO <sub>2</sub>
9	落合公園体育館	2013年4月	10.0 kW	4.3t-CO <sub>2</sub>
10	知多公民館 <sup>※2</sup>	2014年3月	49.5 kW	21.3t-CO <sub>2</sub>
11	総合保健医療センター <sup>※2</sup>	2014年4月	47.5 kW	20.5t-CO <sub>2</sub>
12	東部調理場	2014年9月	30.0 kW	12.9t-CO <sub>2</sub>
13	東部市民センター <sup>※2</sup>	2015年12月	60.2 kW	25.9t-CO <sub>2</sub>
14	総合福祉センター <sup>※2</sup>	2016年1月	38.7 kW	16.7t-CO <sub>2</sub>
15	坂下公民館	2016年1月	20.0 kW	8.6t-CO <sub>2</sub>
16	衛生プラント処理棟 <sup>※2</sup>	2016年3月	125.1 kW	53.9t-CO <sub>2</sub>
17	味美ふれあいセンター <sup>※2</sup>	2016年3月	49.5 kW	21.3t-CO <sub>2</sub>
18	西部ふれあいセンター <sup>※2</sup>	2016年3月	47.3 kW	20.4t-CO <sub>2</sub>
19	総合体育館 <sup>※2</sup>	2016年3月	51.6 kW	22.3t-CO <sub>2</sub>
20	新藤山台小学校 <sup>※2</sup>	2016年3月	30.0 kW	12.9t-CO <sub>2</sub>
21	JR春日井駅	2016年7月	46.0 kW	19.8t-CO <sub>2</sub>
22	第一保育園 <sup>※2</sup>	2016年9月	56.7 kW	24.4t-CO <sub>2</sub>
23	本庁舎	2016年12月	20.7 kW	8.9t-CO <sub>2</sub>
24	清掃事業所 <sup>※2</sup>	2016年12月	315.9 kW	136.2t-CO <sub>2</sub>
25	市営下原住宅 <sup>※2</sup>	2018年11月	49.2 kW	21.2t-CO <sub>2</sub>
合計 <sup>※3</sup>			1,184.4kW	510.4t-CO <sub>2</sub>

※1: 最大出力値×1,000×中部電力ミライズ(2020年度)の二酸化炭素排出係数 0.431 (kg-CO<sub>2</sub>/年)

※2: 屋根貸しにより設置

※3: 四捨五入の関係で計が一致しない場合があります。



東部市民センター



本庁舎

(2)省エネルギー行動の促進

COOL CHOICE 啓発

具体的取組み番号 112

【取組み内容等】

国が進める国民運動「地球にやさしい賢い選択」COOL CHOICEの趣旨に賛同し、2017年5月1日に市民・事業者・市民活動団体と連携して取組みを推進することを宣言しました。

2020年度は、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、多くのイベントが中止となりましたが、このような状況下でも、気象予報士出前講座やエコドライブ講習会など、感染防止対策を講じつつCOOL CHOICEについての啓発を行いました。

COOL CHOICE 啓発(2020年度)

イベント名	開催日	場所	内容
市職員出前講座 (P26 参照)	8月7日(金)～ 12月18日(金) 計10回	大手小学校他	環境省の「地球温暖化防止コミュニケーター」養成講座を修了した市職員が講師となり、動画や模型を用い地球温暖化についての講座を実施した。身近な環境にやさしいマークを用いたゲームやクイズを通じて楽しみながら地球温暖化について学んだ。
広報春日井	12月1日号	-	地球温暖化防止月間にあわせ、広報に啓発記事を掲載。
気象予報士出前講座 (P26 参照)	12月3日(木) 1月15日(金) 計2回	高森台小学校 春日井小学校	NPO法人気象キャスターネットワークと連携し、気象予報士が講師となり、地球温暖化についての講座を実施した。温暖化の仕組みや影響を学び、日常生活でどのようなエネルギーをいつ使っているかを想像し、自分たちができる省エネ行動を学んだ。
エコドライブ講習会 (P36 参照)	12月17日(木)	グルッポ ふじとう	マジオドライバースクール春日井校の教習インストラクターが講師となり、エコドライブの習得についての講話、実技指導を実施した。エコドライブ講話前後の走行燃費の比較により、エコドライブの効果を実感し、環境にやさしいだけでなく、安全運転にもつながることを学んだ。



市職員による出前講座



気象予報士による出前講座

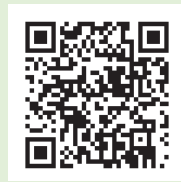


エコドライブ講習会

【取組み内容等】

毎月第1水曜日を「エコライフDAY」と定め、市民や事業者の皆さんそれぞれが地球環境に優しい行動を積極的に行う日としています。啓発チラシを配布するほか、横断幕及び懸垂幕の設置、環境カレンダー(ごみ出しカレンダー)へ記載するなどエコライフ DAY の普及を図っています。

2020年8月5日(水)のエコライフDAYには、日本古来の涼み方である「打ち水」を市公共施設で461人(52施設)、かすがいエコオフィスで296人(38事業所)の皆様にご参加いただき、市内各所で行いました。



QRコードを読み込んで春日井市HPへアクセス



打ち水参加かすがいエコオフィス認定事業所(2020年度)

(50音順)

番号	事業所名	番号	事業所名
1	愛知タイヤ工業株式会社 春日井工場	20	中部電力パワーグリッド株式会社 春日井営業所
2	株式会社ウエダ	21	株式会社中部レキセイ
3	株式会社エージック	22	株式会社ティーティー
4	王子製紙株式会社 春日井工場	23	東春信用金庫 春日井支店
5	株式会社大垣共立銀行 春日井支店	24	東春信用金庫 勝川支店
6	株式会社大垣共立銀行 春日井市役所出張所	25	東春信用金庫 高蔵寺支店
7	株式会社大垣共立銀行 勝川支店	26	東春信用金庫 坂下支店
8	株式会社大垣共立銀行 ニュータウン特別出張所	27	東春信用金庫 六軒屋支店
9	株式会社大垣共立銀行 東野支店	28	東濃信用金庫 小野支店
10	医療法人社団喜峰会 デイサービス喜峰	29	東濃信用金庫 春日井支店
11	医療法人社団喜峰会 東海記念病院	30	東濃信用金庫 勝川支店
12	介護老人保健施設グレイスフル春日井	31	東邦ガス株式会社 春日井営業所
13	社会福祉法人サン・ビジョン グレイスフル浅山	32	東洋電機株式会社
14	株式会社春水園	33	トヨタホーム株式会社 春日井事業所
15	昭和精機株式会社 高蔵寺工場	34	パナソニック エコシステムズ株式会社
16	株式会社ソシオネクスト高蔵寺事業所	35	パナソニックエコシステムズベンテック株式会社
17	大和エネルギー株式会社	36	株式会社ビクター化学工業所
18	中日クラフト株式会社	37	株式会社松浦組
19	中部精機株式会社	38	レンゴー株式会社 新名古屋工場

※かすがいエコオフィス認定事業所の取組みについては35ページをご覧ください。

(3) 地域環境の整備

かすがいシティバス事業

具体的取組み番号 9

【取組み内容等】

公共交通空白地域における昼間の時間帯の高齢者の移動手段の確保及び環境負荷の軽減を目的として、4路線(東環状線、西環状線、南部線、北部線)で、かすがいシティバスを運行しています。環境にやさしい交通手段の一つとして、例年 30 万人以上の市民が利用しています。

運賃は、200 円の均一運賃(高齢者等一部割引有)となっています。



QRコードを読み込んで  
春日井市HPへアクセス

かすがいシティバス利用者数

路線	2018 年度	2019 年度	2020 年度
東環状線	206,034 人	208,222 人	157,492 人
西環状線	61,720 人	62,360 人	43,693 人
北部線	18,268 人	19,317 人	13,387 人
南部線	38,130 人	38,482 人	27,983 人
合計	324,152 人	328,381 人	242,555 人



かすがいシティバス

第1部  
環境基本計画の実施状況

次世代自動車の普及促進

具体的取組み番号 11

【取組み内容等】

市では、ハイブリッド車を1台新規購入するなど、公用車への次世代自動車の導入を進めており、2020 年度末現在で 56 台導入しています。

2020 年度は、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により次世代自動車の展示を行うイベントが中止となりましたが、過去には消費生活展で電気自動車・パネルの展示、アースデイ朝宮公園、エコメッセフェスタでは燃料電池車 MIRAI(愛知県協力)の車両の展示をするなど、多くの市民に対して広く普及啓発を行いました。

次世代自動車導入台数  
(2020 年度末)

分類	導入台数
電気自動車	3 台
ハイブリッド車	7 台
クリーンディーゼル車	46 台
合計	56 台



電気自動車・パネルの展示  
(2018 年度 消費生活展)



燃料電池車の展示  
(2019 年度 アースデイ朝宮公園)

## 第2節 自然を守り自然に親しむ(自然共生社会)

### (1) 自然との共存

#### 希少野生動植物種の保護

具体的取組み番号 57

##### 【取組み内容等】

市では、希少な野生動植物を守るために、2012年(平成24年)1月10日、市指定希少野生動植物種8種を指定しました。

○植物：シデコブシ、ササユリ、ヒメカンアオイ

○動物：カヤネズミ、ヨタカ、ナゴヤダルマガエル、ギフチョウ、ヒメタイコウチ

2020年度は、自然環境保全活動推進員が月1回希少種保護の巡回活動を実施しました。新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響で中止となりましたが、これまでに緑と花のフェスティバルやエコワールドなどで自然環境保全や外来種問題等について、周知啓発を行いました。



QRコードを読み込んで  
春日井市HPへアクセス

パンフレット「守りたい春日井の自然」

第1部  
環境基本計画の実施状況

#### 自然環境保全活動推進員

具体的取組み番号 77

##### 【取組み内容等】

自然環境の保全に関する知識の普及や保全活動の推進のため、2020年度は、第7期(2019、2020年度)の推進員29人で活動しました。

この推進員は、自然環境の保全を推進するリーダーとして、次の役割を担います。

- ① 自然環境の保全に関する普及活動の推進
- ② 自然環境の保全に必要な巡回活動
- ③ 自然環境調査等への協力
- ④ 指定希少野生動植物種の保護啓発の巡回活動



QRコードを読み込んで  
春日井市HPへアクセス



ステップアップ講座(竹林の整備)

##### ○2020年度の活動内容

- 1 希少種保護の巡回活動 月1回
- 2 意見調整や情報交換のための連絡会議 年4回
- 3 資質向上のためのステップアップ講座 年4回
- 4、5月「ギフチョウの成体数調査」 10月「地質を学ぶ」
- 2月「キノコを学ぶ」 3月「竹林の整備」

##### ○自然環境保全活動推進員養成講座

第8期(2021、2022年度)の新規推進員を養成するため、春日井市の自然についてなど、全6回の講座を実施し、10名が修了しました。



自然環境保全活動推進員養成講座

## 【取組み内容等】

持続可能な社会の実現に寄与するため、かすがい環境まちづくりパートナーシップ会議（以下、「PS会議」という。）の市民団体会員により様々な環境保全活動が行われています。



QRコードを読み込んで  
春日井市HPへアクセス

### PS会議の市民団体会員による環境保全活動（2020年度）

市民団体名	活動内容
ガールスカウト愛知県第110団	植物などの話を聞きながら弥勒山を登り、自然と触れ合った。下山後は拾い集めた木の葉や木の実を使った工作を実施した。
春日井SDGs推進ネットワーク	国連が15年間（2016-2030年）で達成するために掲げた17の国際目標である『持続可能な開発目標（SDGs）』を推進することを目的に活動した。
かすがい里山自然楽校	潮見坂平和公園内の希少植物の生息地保全整備や、自然体験、観察会などの環境学習のためのフィールド整備を行った。また、なごや環境大学の認定教育講座や環境学習会を開催した。
春日井里山保存会	ビオトープを設置し、水生生物等の保護・管理など自然環境の保全を行った。さらに、イノシシ侵入防止のための門扉を設置しビオトープの保全を図った。
かすがいシェアリングネイチャーの会	公益社団法人日本シェアリングネイチャー協会の基本理念に沿って、市内小学校での野外活動やイベントにおいてネイチャーゲームの指導などを行った。
春日井自然友の会	イノシシによる野草園の被害を防ぐため、野草園南側及び西側に鉄製フェンスを設置し、維持管理及び自然保護を実施した他、自然観察会、自然調査を行った。
春日井スカウト団協議会	ボーイスカウト・ガールスカウトで構成され、青少年の健全育成を目標とし、野外活動を通して自然を学び友情協調の精神を育てる事を目的として活動した。
かすがい東部丘陵自然観察会	生き物への関心と生物多様性の大切さなどを学びきっかけづくりとして、アゲハチョウ飼育セットを市内小学校へ無償提供するため、食草（アゲハソウ）の生育管理、増殖を実施した。
環境学習ネットワークグループ	新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、小学生への学習支援やサポート活動が出来なかったため、今後の野外学習のためのフィールド整備など、里山の環境整備に重点を置いて活動した。
高蔵寺ニュータウン生き活き楽農会	玉野の遊休地で安心安全な有機野菜づくりや自然環境保全のための清掃活動を行った。
たかくらこどもエコクラブ	高座小学校内にて環境学習と自然遊び、エコ工作、庄内川の水質調査とガサガサ体験など様々な環境学習及び体験を行った。
特定非営利活動法人かすがいネイチャー	高森山にすむニホンリスを調査・保全するため、毎月ニホンリスへの給餌活動や高森山のくるみ苗の植樹や周辺の下草刈りを行い、生態状況を把握した。
特定非営利活動法人ザ・希望	障害者・高齢者等とともに、耕運機による畑の浄化やさつまいもの蔓の植え付けを行った。収穫の際は地域の子も達が参加し、芋ほりを通じて自然とふれあった。
名古屋工業大学ソーラーカー部	ソーラーカーの開発や製作を通じて、省エネや次世代エネルギー利用の普及・促進に取り組んだ。
みろく山麓の自然を守る会	築水池北岸湿地の保全・観察、散策路の管理を行った。



散策路の保全管理  
（みろく山麓の自然を守る会）



さつまいもの収穫  
（特定非営利活動法人ザ・希望）



潮見坂平和公園での自然体験  
（かすがい里山自然楽校）

## (2) 自然とのふれあい

### 自然環境学習会

具体的取組み番号 74

#### 【取組み内容等】

自然とふれあう機会の提供と、自然環境の保全に対する理解と関心を深めるため自然環境保全活動推進員が講師となり、自然環境学習会を実施しました。



QRコードを読み込んで  
春日井市HPへアクセス

#### 自然環境学習会(2020年度)

イベント名	開催日	場所	参加者	内容
自然観察会	10月18日(日)	庄内川	27人	庄内川で川の中の生き物を採取観察し、水の汚れなどを調査する自然観察会を実施した。
秋の自然環境学習会	11月15日(日)	潮見坂 平和公園	27人	潮見坂平和公園の山林や竹林の中で自然観察を行った。その後、自然素材を使ったリースを作製し、自然と親しんだ。



自然観察会



秋の自然環境学習会

## 少年自然の家周辺での取組み

具体的取組み番号 75

### 【取組み内容等】

愛知高原国定公園に指定される優れた自然環境に恵まれた少年自然の家周辺において、地域の自然を活かした様々な自然学習を実施しました。(18 イベントで延べ2,965人参加。)



QRコードを読み込んで  
春日井市HPへアクセス

### 少年自然の家周辺での自然学習(2020年度)

イベント名	開催日等	参加者	内容
きらめきキャンプ ホテル&カヌー	6月6日(土) 6月7日(日)	30人	家族でテント泊や野外炊事、ナイトハイク、カナディアンカヌー、パンづくりを実施した。
ハチミツしぼり体験	6月20日(土)	20人	ミツバチの観察やハチミツ搾りを実施した。
親子 de ツリークラ イミング	6月21日(日)	16人	親子でツリークライミングと野外炊事を実施した。
全力!Nスポーツ ×キャンプ	7月11日(土) 7月12日(日)	13人	アウトドアとNスポーツを融合させた最強のキャンプを実施した。
築水池カヌー体験	7月18日(土) 7月19日(日)	25人	カヌーでしか味わえない景色を楽しむとともに水鳥の視点で周辺の森林の観察会を実施した。
自然体験プログラ ム(夏季・冬季)	夏季7月21日(火) ~8月31日(月) 冬季12月26日(土) 12月27日(日)	156人	夏季 ナイトハイクと天体観測 冬季 餅つき・キャンドルづくり・たき火&焼きいも
野外活動・自然体 験指導者講座	8月29日(土) 9月5日(土) 9月6日(日) 9月27日(日)	54人	・プロジェクト・ワイルドのエducator養成講座 ・自然体験活動の理念、自然の仕組み、自然を知る ・参加者を知る、自然体験活動の基礎、ナイトハイク 他 ・安全対策、普通救命救急 他
全力!虫とり×キ ャンプ	9月12日(土) 9月13日(日)	26人	虫ざんまいのキャンプを実施した。
万葉の花めぐり	9月3日(木)	13人	万葉集の和歌を楽しみ歌にある植物の観察会を実施した。
地域ミライ防災× キャンプ	10月31日(土) 11月1日(日)	24人	災害時に必要な技術を学ぶキャンプを実施した。
冬のファミリーキ ャンプ	12月12日(土) 12月13日(日)	32人	親子で自然観察、リースづくり、もちつき等を実施した。
わくわく自然ランド	年2回実施	58人	身近なフィールドである春日井の東部丘陵の魅力と四季折々の自然に触れるイベントを実施した。
あそびむしくらぶ	年7回実施	141人	2、3歳児とその保護者を対象として、年間を通じて身近な自然環境を体験するイベントを実施した。
自然学校	年4回実施	73人	地域特有の湿地と生物の観察や雑木林の手入れを通して里山の生物多様性とその保護の必要性を学ぶイベントを実施した。
大人の里山歩き	年3回実施	47人	東部丘陵の四季折々の自然を感じながら里山歩きを実施した。
環境教育プログラ ム	随時	347人	プロジェクト・ワイルドのアクティビティで野生生物の生態や行動を通じて、自然環境について学ぶ教育プログラムを実施した。
ネイチャーガイド× トレッキング	随時	199人	小学5年生(野外学習)を対象にガイドと一緒に歩き、四季折々の自然を感じながらトレッキングを実施した。
出張自然講座	随時	1,691人	申込者のニーズにあわせた自然講座を実施した。



## 第3節 ごみを減らし資源を有効に活用する(資源循環社会)

### (1)ごみの減量化と3Rの推進

エコ先案内人
具体的取組み番号 83

**【取組み内容等】**

ごみの減量やリサイクル、家庭でのエコ生活などについて、親子を対象に環境紙芝居やエコクイズ、エコ工作、エコかるたを通して、楽しく分かりやすく案内する「エコ先案内人」を実施しました。毎月1回、日曜日の午前10時から午後3時まで、クリーンセンターの環境啓発施設エコメッセ春日井において開催し、3月までに延べ177人の参加がありました。

(2020年度)

No.	開催日	参加者	エコ工作内容
1	4月12日(日)	中止	アメリカクラッカー
2	5月10日(日)	中止	母の日の花束
3	6月14日(日)	中止	まつぼっくりのけん玉
4	7月12日(日)	18人	タラヨウのエコ宣言
5	8月2日(日)	7人	石と貝殻のアート
6	9月13日(日)	18人	六角パズル
7	10月11日(日)	8人	どんぐりごま
8	11月15日(日)	25人	木の実の正月飾り
9	12月13日(日)	35人	木の実とかいがらの壁掛
10	1月10日(日)	27人	昔遊び
11	2月14日(日)	中止	紙皿にのったお雛様
12	3月14日(日)	39人	エコかるた



QRコードを読み込んで  
春日井市HPへアクセス



タラヨウのエコ宣言での工作物




どんぐりごま作り


環境美化・ごみ減量啓発推進事業
具体的取組み番号 87

**【取組み内容等】**


家庭からのCO<sub>2</sub>排出量分かる「環境家計簿」と「資源・ごみ出しカレンダー」を組み合わせ「環境カレンダー」と、資源・ごみの出し方を詳しく掲載した「資源・ごみの出し方便利帳」を作成し、広く市民に配付することにより、資源分別、ごみの減量や省エネが地球温暖化防止につながる取組みであることを啓発しました。また、2018年(平成30年)3月に導入したごみ収集日や分別方法の検索機能などを有するスマートフォン用ごみ分別アプリ「さんあ〜る」のインフォメーション機能を活用し、旬な情報の提供に努めました。さらに、2019年3月に改定した春日井市ごみ処理基本計画に定めた計画目標を達成するため、ごみの排出抑制に繋がる各種施策を実施しました。



環境カレンダー



QRコードを読み込んで  
春日井市HPへアクセス



ごみ分別アプリ「さんあ〜る」

## (2)ごみの資源化の推進

### 資源分別収集

具体的取組み番号 98

#### 【取組み内容等】

市内の約 7,350 か所に設置されたごみステーションで、家庭から出た飲料缶・ガラスびん・ペットボトル・新聞紙・雑誌・段ボール・古着・牛乳パックを 2002 年 10 月から、プラスチック製容器包装や金属類を 2013 年 4 月から資源として分別収集しています。

収集にあたっては、ごみ・資源の分別の徹底と排出マナーの向上を目的に、2007 年(平成 19 年)2 月から指定袋制度を導入しています。

資源は、ごみステーションでの収集をはじめ、子ども会や学校などの資源回収団体の活動による回収や、クリーンセンターでの処理によるもの等があり、新聞、雑誌など 11 種類の資源の分別をしています。

2019 年 10 月から蛍光管の拠点回収を開始した 4 施設に加え 2020 年 10 月から、坂下公民館、東部市民センター、総合福祉センター及び清掃事業所を加えた 8 施設で行っており、2020 年度は 812 本回収しました。なお、2020 年 11 月から愛知県電機商業組合春日井支部加盟の一部協力店舗でも回収を始めています。



QRコードを読み込んで  
春日井市HPへアクセス

#### 資源回収状況

	2018 年度		2019 年度		2020 年度	
	市収集	資源回収団体	市収集	資源回収団体	市収集	資源回収団体
新聞	1,865.32 t	1,267.08 t	1,466.71 t	1,113.66 t	1,426.25 t	369.62 t
雑誌 (雑がみを含む)	1,877.97 t	519.54 t	1,591.70 t	451.48 t	1,712.94 t	189.52 t
段ボール	1,477.44 t	295.35 t	1,303.35 t	263.58 t	1,457.45 t	135.33 t
古着	480.81 t	62.49 t	455.54 t	58.62 t	573.52 t	16.61 t
牛乳パック	40.37 t	18.42 t	37.09 t	18.75 t	45.01 t	8.65 t
飲料缶	259.96 t	36.88 t (アルミ缶)	267.40 t	36.18 t (アルミ缶)	311.00 t	24.62 t (アルミ缶)
ガラスびん	1,593.10 t	0 t	1,556.91 t	0 t	1,600.65 t	0 t
ペットボトル	785.75 t	—	799.77 t	—	827.25 t	—
天ぷら油	11.67 t	—	11.39 t	—	12.26 t	—
プラスチック製 容器包装	2,607.94 t	—	2,761.27 t	—	2,816.92 t	—
金属類 (小型家電を含む)	664.95 t	—	937.95 t	—	1,120.85 t	—
合計	11,665.28 t	2,199.76 t	11,189.08 t	1,942.27 t	11,904.10 t	744.35 t

### 焼却灰の活用

具体的取組み番号 101

#### 【取組み内容等】

ごみ処理施設(クリーンセンター)では、ごみを燃やしてできる焼却灰をセメント工場に送り、セメント原料として有効活用に努めました。

#### 焼却灰等の有効活用

種類	2018 年度	2019 年度	2020 年度
セメント原料	2,996.73 t	2,994.52 t	2,999.29 t



セメント工場



セメント

## 第4節 市民と事業者、行政が協働して環境まちづくりを進める(連携・協働)

### (1)環境市民の育成

#### 市民環境アカデミー

具体的取組み番号 181

##### 【取組み内容等】

環境について幅広い知識を有し、環境への取組みを实践できるリーダー的な役割を担う人材を育成するため、資源循環、生物多様性、海洋汚染など幅広く環境について、講義やワークショップなどを通じて学べる連続講座を2016年度(平成28年度)より開催し、全6回中5回以上出席した方へ修了証を交付しています。

2020年度は、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により中止となりましたが、過去4年間の市民環境アカデミーでは、合計24講座を実施し、128人の方が修了されました。



QRコードを読み込んで  
春日井市HPへアクセス

##### 市民環境アカデミー開催実績

年度	No	講座名	修了者
2016	1	「いなしの智慧」～日本人と自然～	32人
	2	「築水池周辺フィールドワーク」～自然環境の保全活動について学ぶ～	
	3	「地球を取り巻く環境問題」～デジタルアースによる見える化～	
	4	「省エネ・節電セミナー」～はじめよう！地球と家計にやさしい取組み～ 「春日井のリサイクルの現状」	
	5	「自然とともに暮らすまち「春日井」に！」～みんなでワークショップ～	
	6	「地球温暖化に地域から取り組む」	
2017	1	「現在の環境問題について考える」～持続可能な発展の社会を目指して～	30人
	2	「自然環境の保全活動を体験」～潮見坂平和公園での里山整備～	
	3	「持続可能な社会づくりのための人づくり」～ESD(持続可能な開発のための教育)について～ 「未来のために、いま選ぼう。COOL CHOICE I」～家庭でできる地球温暖化対策～	
	4	「都市の生物多様性」～生物多様性向上のための都市緑化～	
	5	「未来のために、いま選ぼう。COOL CHOICE II」～地球温暖化に地域から取り組む～	
	6	「環境活動の実践方法」～これまで学んだことを活かし、行動しよう～	
2018	1	北極・南極から見た気候変動・地球温暖化	32人
	2	チョウ類のモニタリング調査体験と自然観察	
	3	碧南火力発電所見学エコツアー	
	4	サボテンが地球を救う！？	
	5	淡水域の生物多様性を守るためには？	
	6	私たちのための、私たちによる環境まちづくり～学びを行動に～	
2019	1	太陽と惑星と生命と	34人
	2	パソコンの分解からリサイクルを学ぶ～レアメタルを探そう～	
	3	空気・水の環境事業を創造する春日井工場エコツアー	
	4	発光生物が照らす環世界	
	5	伊勢湾のマイクロプラスチック汚染の現状	
	6	私たちのための、私たちによる環境まちづくり～学びを行動に～	



2016年度 第5回 みんなでワークショップ 2017年度 第2回 潮見坂平和公園での里山整備 2018年度 第3回 火力発電所見学エコツアー

## 青空教室

具体的取組み番号 184

### 【取組み内容等】

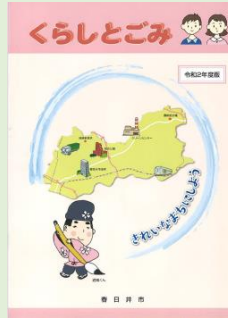
ごみの減量と分別意識を培うため、小学校教師による社会科研究会と協働で作成した、社会科副読本「くらしとごみ」を市立小学校全校(37校)の4年生に配付しました。

また、市職員がごみ処理の状況、ごみの減量、リサイクルの必要性などを説明するとともに、ごみ収集車にごみを積み込む体験をしてもらう「青空教室」を、小学4年生の社会科総合学習として実施しました。

さらに、園児のごみに対する興味関心を高め、子どもを通して家庭にごみの分別等を周知するため、保育園等においても「青空教室」を実施しました。

### 青空教室(2020年度)

	施設数	人数
小学校	34校	2,782人
公・私立保育園 私立幼稚園	15園	860人



副読本「くらしとごみ」



青空教室(東野小学校)

## 出前講座

具体的取組み番号 185

### 【取組み内容等】

地球温暖化防止の取組みを行うきっかけづくりを目的として、地球温暖化の最新情報やその対策について、NPO法人気象キャスターネットワークの協力のもと、気象予報士を講師に招き、市内小学校で出前講座を開催しました。

また、環境省の「地球温暖化防止コミュニケーター養成講座」を修了した市職員(延べ8名)による出前講座を市内小学校や放課後なかよし教室、サマースクールで開催しました。「2100年未来の天気予報」の動画や模型を使った実験を通じて地球温暖化について学び、自分たちにできることを考えました。



QRコードを読み込んで  
春日井市HPへアクセス

### 出前講座(2020年度)

	開催日	場所	参加者	講師
市職員 出前講座	8月7日(金)～ 12月18日(金) 計10回	大手小学校他	198人	市職員
気象予報士 出前講座	12月3日(木) 1月15日(金) 計2回	高森台小学校 春日井小学校	168人	NPO 法人気象キャスターネットワーク・気象予報士 竹下 愛実、虫鹿 里佳



気象予報士による出前講座



市職員による出前講座

## 【取組み内容等】

子ども(小学4～6年生)とその保護者を対象に、見学や体験を交え楽しみながら家族ぐるみで環境について学び、考えるきっかけづくりとするため全5回の連続講座を2018年度より実施しています。

2020年度は、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により中止となりましたが、過去2年間では、40組85名の方が受講し、環境への取組みを率先して実施するエコファミリーの育成を図ることができました。



QRコードを読み込んで春日井市HPへアクセス

## 子ども環境アカデミー開催実績

年度	No	講座名	受講者
2018	1	「夏休み親子工作教室」～資源を活かして壁掛け時計を作ろう～	20組 41名
	2	「川越火力発電所見学エコツアー」～電気の生まれる瞬間を見に行こう～	
	3	「ごみ処理の最前線」～身近な衛生環境について考えよう～	
	4	「秋の自然環境学習会」～春日井の自然と触れ合おう～	
	5	「お天気お姉さんと学ぶ地球温暖化」～未来の天気と私たちにできること～	
2019	1	リサイクルって大切なんだ！～家電製品の解体現場を見てみよう～	20組 44名
	2	ピンってどうやって生まれ変わるの？～ガラスでキーホルダーを作ろう～	
	3	川越火力発電所見学エコツアー～電気の生まれる瞬間を見に行こう～	
	4	秋の自然環境学習会～春日井の自然と触れ合おう～	
	5	サボテン博士と学ぶ環境生態学～市の特産品「サボテン」について学ぼう～	



2018年度 第1回  
親子工作教室



2018年度 第2回  
火力発電所見学エコツアー



2018年度 第4回  
秋の自然環境学習会



2019年 第2回  
ガラスでキーホルダーを作ろう



2019年 第3回  
火力発電所見学エコツアー



2019年 第5回  
市の特産品「サボテン」について学ぼう

【取組み内容等】

春日井まつりにおいて、かすがい環境まちづくりパートナーシップ会議を始めとする市民団体、事業者、市等が協働でブースを出展し、環境に関する啓発を行う「エコワールド」を開催しています。

2020年度は、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により中止となりましたが、これまで多くの方々にご参加いただきました。

エコワールド開催実績(直近3回)

年度	出展団体数	延べ参加人数
2016	14 団体	22,176 人
2018	15 団体	23,636 人
2019	14 団体	18,097 人



エコワールド

※2017年度は雨天により中止

エコワールド出展団体等(直近3回)

1	かすがい環境まちづくりパートナーシップ会議	10	株式会社トヨタレンタリース名古屋
2	春日井スカウト団協議会	11	王子製紙株式会社 春日井工場
3	かすがいシェアリングネイチャーの会	12	浜田化学株式会社
4	サービス・トゥー・ネイチャー・春日井	13	株式会社 LIXIL
5	中部大学 ESD エコマネーチーム	14	多治見市環境課
6	愛知工業大学総合工学研究会	15	春日井市環境政策課
7	中部大学発光生物学研究室	16	春日井市環境保全課・環境分析センター
8	名古屋工業大学ソーラーカー部	17	春日井市ごみ減量推進課
9	パナソニック エコシステムズ株式会社	18	春日井市清掃事業所



木の実などを使った工作  
(サービス・トゥー・ネイチャー・春日井)



ミニソーラーカーレース  
(名古屋工業大学ソーラーカー部)



EVカーレース  
(愛知工業大学総合工学研究会)



ペーパークラフト&手作り風車  
(パナソニック エコシステムズ株式会社)

## 環境絵画コンクール

具体的取組み番号 185

### 【取組み内容等】

子どもたちの環境保全意識を高めるために、パナソニック エコシステムズ株式会社が主催する「環境絵画コンクール」に、2019年度から「春日井市長賞」を創設し、受賞作品をごみ収集車にラッピングしました。

春日井市長賞の表彰式を市役所1階の市民ホールにて行いました。また、ラッピングしたごみ収集車を小学校の青空教室で使用し、子どもたちへの環境保全の啓発にも活用しています。



QRコードを読み込んで  
春日井市HPへアクセス



春日井市長賞の表彰



ラッピングしたごみ収集車との記念撮影

## ささえ愛センターでの活動・交流

具体的取組み番号 187

### 【取組み内容等】

市民活動支援センター(ささえ愛センター)では、市民活動団体やボランティアグループなど、市民が自主的・自発的に行っている公益的な活動を支援するとともに、市民との協働によるまちづくりを推進することを目的として、市民活動に関する相談、情報の発信などを行っています。

2020年度は、199団体が登録しており、市民活動を行う人材の育成や団体の支援のため、5回(延べ24回)のイベント・講座を行いました。



QRコードを読み込んで  
春日井市HPへアクセス



オトナのボランティアスクール

## エコメッセフェスタ

具体的取組み番号 214

### 【取組み内容等】

環境やリサイクルに関する展示及び来場者が参加できる催しを通して、環境や3R(Reduce、Reuse、Recycle)を啓発するとともに、啓発施設としてのエコメッセ春日井をアピールするため、エコメッセ春日井において、クリーンセンターバックヤードツアーやごみ分別クイズ、フリーマーケット、エコ料理教室等の体験学習を毎年開催しています。

2020年度は、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により中止となりました。



QRコードを読み込んで  
春日井市HPへアクセス

過去3年間の来場者数

	来場者数
2017年度	3,230人
2018年度	3,918人
2019年度	4,610人



エコメッセ春日井でのフリーマーケット

## (2) 市民協働の推進

### かすがい環境まちづくりパートナーシップ会議

具体的取組み番号 195

#### 【取組み内容等】

市民、事業者、市の三者協働による環境まちづくりを推進する組織として、2002年12月に「かすがい環境まちづくりパートナーシップ会議(以下、「PS会議」という。)」が設立され、2020年度末の会員数は市民30人・市民団体15団体・事業者6社となっています。

PS会議は、市の環境に関するイベントに参加・共催するとともに、市民や市民団体の連携の輪を広げるため、様々な自主イベントを実施しました。



QRコードを読み込んで  
春日井市HPへアクセス

#### PS会議の自主イベント(2020年度)

イベント名	開催日	場所	参加者	内容
水生生物調査と水質調査	6月7日(日)	庄内川右岸河川敷(高蔵寺運動広場)	6人	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、主催のたかくらこどもエコクラブのスタッフ等6人で実施した。水生生物調査では、トビケラ類やヨシノボリの稚魚などを見つけ、水質調査の結果、庄内川を流れる水の透明度は98と、とてもきれいなことがわかった。
林間学校「竹で水鉄砲を作ってみよう！」	8月2日(日)	潮見坂平和公園	27人	PS会員である里山自然楽校の協力のもと竹の水鉄砲づくりと自然観察を行った。ため池の前ではホタルの話聞き、竹林では種類や成長の過程を自分の目で確認して、自然観察を楽しんだ。その後竹を使った水鉄砲を作製した。試し打ちをしながら調整を繰り返し、上手に作り上げた。
藤前干潟清掃活動	10月31日(土)	新川・庄内川河口付近	2人	第33回を迎えた藤前干潟クリーン大作戦では、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、例年実施するバスツアーは取りやめ、事務局員のみで清掃活動に参加した。堤防に流れ着いたペットボトルや空き缶、プラスチック容器などのごみを手作業で取り除いた。山積みになったたくさんのごみを見て、庄内川上流域に住む私たちの行動を考えるきっかけとなった。
水質調査「庄内川ってきれいなのか？」	11月14日(土)	庄内川右岸河川敷(高蔵寺運動広場)	27人	透視度計と水質検査キットを利用して水質調査を行った。「川の生き物下敷き」を使い、生息する生物の違いから水のきれいさがわかることを学んだ。水質調査の後は、木の枝を使った工作を行い、自由に色を塗ったり、動く目玉をつけたりして個性的な作品を作製した。



林間学校



水質調査



# 第2部 地球温暖化対策実行計画の実施状況

## 第1章 地球温暖化対策実行計画の概要

本市は、2012年3月に「春日井市地球温暖化対策実行計画」を策定し、地球温暖化対策に取り組んできましたが、計画策定後の温室効果ガス排出量の推移や社会情勢の変化を踏まえ、2019年3月に計画を改定し、さらなる取組みを推進しています。

### 数値目標

基準年度：2013年度 目標年度：2030年度

部門	削減目標	考え方
総量	26%	市内の温室効果ガス総排出量の削減を目指す
民生家庭部門	40%	市内の民生家庭部門から排出される温室効果ガス排出量の削減を目指す
産業部門	13%	市は、愛知県の目標達成に向けて、愛知県が実施する施策に協調、補完し、取組みを実施 (愛知県全体での目標達成を目指す)
民生業務部門	49%	
運輸部門	28%	

### 施策・取組みの基本方針

#### 家庭部門への取組みの重視

本市は温室効果ガス排出量に占める民生家庭部門の割合が愛知県と比較すると高くなっています。生活の基盤となる家庭での取組み意識を高めることで他の部門への波及効果が期待できるため、家庭部門への取組みを重点的に推進します。

#### 国・愛知県との協調・連携の促進

取組みの高度化・効率化・多様化を図るために、本市が独自に行う取組みの他、特に産業部門、民生業務部門、運輸部門について、国・愛知県の施策に協調・連携し、取組みを推進します。

#### 緩和策と適応策の推進

温室効果ガス排出量の削減に向けての「緩和策」を引き続き実施する他、既に起きている気候変動の影響(熱中症や洪水など)に対処するための「適応策」について、取組みを推進します。

#### 【緩和と適応】

気温上昇を抑えるために温室効果ガスの排出量を減らす「緩和策」とともに、熱中症搬送者数や洪水発生の増加など、既に起きている気候変動への影響に対処するための「適応策」の双方が重要です。

温室効果ガスを減らす

#### 「緩和策」

【例】

- ・再生可能エネルギーの利用促進
- ・次世代自動車の導入促進
- ・省エネ行動の実践 等

気候変動の影響に備える

#### 「適応策」

【例】

- ・熱中症対策
- ・洪水、内水対策
- ・ヒートアイランド等対策 等

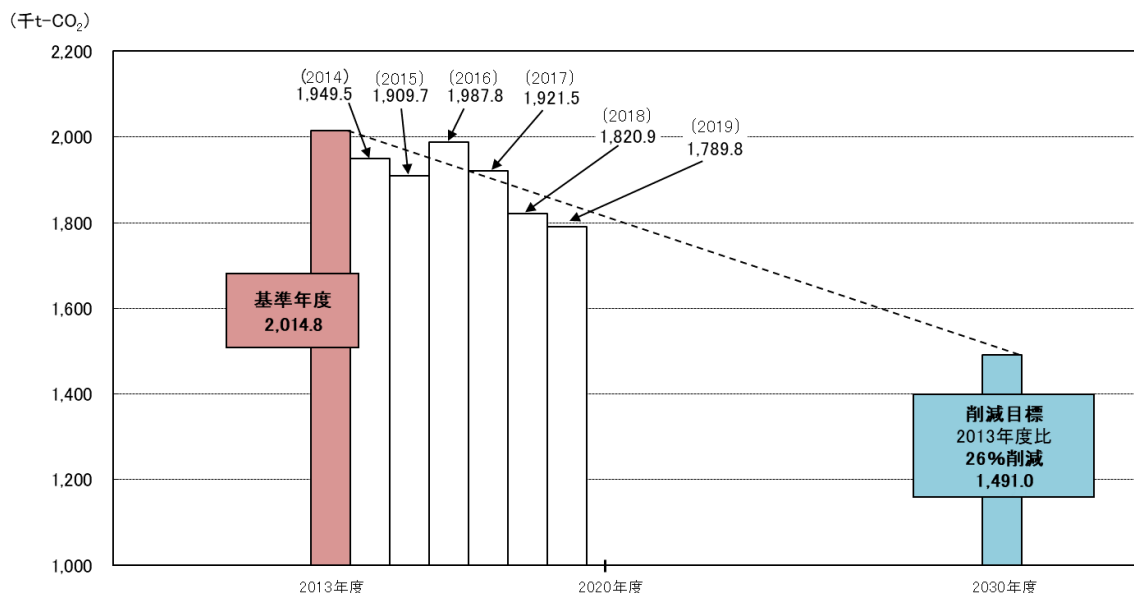
## 第2章 温室効果ガス排出量

### 第1節 温室効果ガス排出量の推移

○春日井市の温室効果ガス排出量の推移と部門別内訳

部門名	年度	年度						増減率 (基準年度比)	増減率 (前年度比)	
		2013年度 (基準年度)	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度			2019年度
産業部門		750.1	754.7	727.3	799.7	770.9	752.8	726.2	-3.2%	-3.5%
民生家庭部門		336.9	316.2	299.8	310.5	292.0	269.6	266.7	-20.8%	-1.0%
民生業務部門		475.8	420.4	422.7	410.6	390.3	325.7	319.1	-32.9%	-2.0%
運輸部門		422.1	428.0	431.5	438.1	440.0	443.1	447.2	5.9%	0.9%
廃棄物部門		20.8	21.0	19.1	19.5	19.3	20.8	21.6	3.9%	3.6%
二酸化炭素排出量 <sup>※</sup>		2,005.6	1,940.3	1,900.3	1,978.4	1,912.5	1,812.0	1,780.8	-11.2%	-1.7%
メタン排出量		1.7	1.7	1.7	1.7	1.5	1.6	1.6	-4.8%	0.3%
一酸化二窒素排出量		7.5	7.6	7.7	7.7	7.5	7.4	7.4	-1.3%	0.6%
温室効果ガス排出量合計 <sup>※</sup>		2,014.8	1,949.5	1,909.7	1,987.8	1,921.5	1,820.9	1,789.8	-11.2%	-1.7%

※ 四捨五入の関係で計が一致しない場合があります。



○【参考】愛知県の温室効果ガス排出量

部門名	年度	年度						2018年度増減率 (基準年度比)	
		2013年度 (基準年度)	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	愛知県	春日井市
エネルギー起源CO <sub>2</sub>	産業部門	40,153	39,827	39,512	40,198	40,880	40,395	0.6%	0.4%
	民生家庭部門	8,584	8,000	7,376	7,463	7,569	6,893	-19.7%	-20.0%
	民生業務部門	12,072	11,336	10,881	9,829	9,688	9,811	-18.7%	-31.5%
	運輸部門	13,327	12,941	13,387	13,400	13,541	13,308	-0.1%	5.0%
	エネルギー転換部門 <sup>※1</sup>	2,435	2,341	2,303	2,364	2,337	2,280	-6.4%	-
非エネルギー起源CO <sub>2</sub>		2,225	2,186	2,163	2,216	2,336	2,451	10.2%	0.3%
二酸化炭素排出量 <sup>※2</sup>		78,796	76,631	75,622	75,468	76,352	75,137	-4.6%	-9.7%
メタン排出量		450	429	424	407	406	462	2.5%	-5.1%
一酸化二窒素排出量		978	939	913	910	919	916	-6.4%	-1.9%
フロン類排出量 <sup>※1</sup>		2,158	2,380	2,539	2,863	2,922	3,025	40.2%	-
温室効果ガス排出量合計 <sup>※2</sup>		82,384	80,379	79,499	79,647	80,600	79,540	-3.5%	-9.6%

※ 各種統計データ、算定方法の見直し等により、再計算される場合があります。

※1 本市の計画では、エネルギー転換部門及びフロン類排出量は対象としていません。

※2 四捨五入の関係で、計が一致しない場合があります。

## 第2節 温室効果ガス排出量増減の主な要因

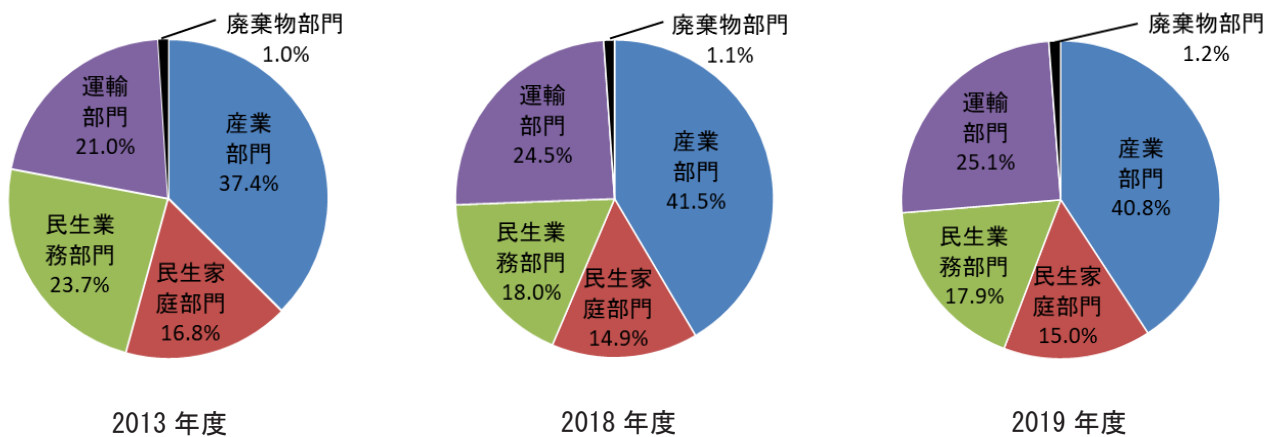
本市の2019年度温室効果ガス排出量は、1,789.8千t-CO<sub>2</sub>であり、前年度比1.7%の減少、基準年度(2013年度)比では11.2%の減少となっています。

前年度から排出量が減少した要因は、産業部門の大半を占める製造業において、製造品出荷額の減少に伴いエネルギー使用量が減少したためと考えられます。

基準年度から排出量が減少した要因は、排出量の約4割を占める民生部門(家庭・業務)について省エネ等によりエネルギー使用量が減少したためと考えられます。

なお、電力の二酸化炭素排出係数(中部電力ミライズ)は、基準年度の0.513kg-CO<sub>2</sub>/kWhから、0.431kg-CO<sub>2</sub>/kWhと減少しています。

### ○部門別二酸化炭素排出量の割合



#### 産業部門 【基準年度比 3.2%減】

節電や省エネ等によりエネルギー使用量が減少したため。

#### 民生家庭部門 【基準年度比 20.8%減】

節電や省エネ等によりエネルギー使用量が減少したため。

#### 民生業務部門 【基準年度比 32.9%減】

節電や省エネ等によりエネルギー使用量が減少したため。

#### 運輸部門 【基準年度比 5.9%増】

排出量の多い普通貨物車の増加など、自動車保有台数が増加したため。

#### 廃棄物部門 【基準年度比 3.9%増】

焼却される一般廃棄物に含まれるプラスチックの量が増加したため。

### 第3章 主な取組み

市民、事業者、市が共通の目標を持ち、その達成に向けた地球温暖化対策を推進するため、温室効果ガス排出量の削減に向けての「緩和策」やすでに起きている影響へ対処する「適応策」の取組みを行っています。2020年度に実施した主な取組みは次のとおりです。

#### 第1節 緩和策（温室効果ガス削減に向けた取組み）

##### (1)再生可能エネルギーの利用促進


<b>住宅における太陽光発電システムの導入支援</b> <b>住宅における地球温暖化対策機器の導入支援</b>	基本施策Ⅰ-1 基本施策Ⅱ-1
<b>【取組み内容等】</b> 14 ページ(環境基本計画 具体的取組み番号 119)をご覧ください。	

<b>公共施設における太陽光発電システム等の導入促進</b>	基本施策Ⅰ-1
<b>【取組み内容等】</b> 15 ページ(環境基本計画 具体的取組み番号 120)をご覧ください。	

##### (2) 市民・事業者の活動促進

<b>COOL CHOICE の普及啓発</b>	基本施策Ⅱ-2
<b>【取組み内容等】</b> 16 ページ(環境基本計画 具体的取組み番号 112)をご覧ください。	

<b>エコライフ DAY の普及啓発</b>	基本施策Ⅱ-2
<b>【取組み内容等】</b> 17 ページ(環境基本計画 具体的取組み番号 180)をご覧ください。	

<b>CO<sub>2</sub>の見える化の促進</b>	基本施策Ⅱ-2
<b>【取組み内容等】</b> 電気、ガスなどの使用量を削減することは、地球温暖化の原因となる二酸化炭素(CO <sub>2</sub> )の排出量の削減につながります。 毎年、市民に配布する「環境カレンダー」に電気、ガス等の使用量からCO <sub>2</sub> の排出量を簡単に計算し、CO <sub>2</sub> の排出量を「見える化」することができる「環境家計簿」を掲載し、省エネ意識の高揚を図りました。	
	
<b>環境家計簿</b>	

【取組み内容等】

節電や節水、ごみの減量化、次世代自動車の導入など環境に配慮した取組みを実施している事業所を応援するため、「かすがいエコオフィス認定制度」を設けています。

「かすがいエコオフィス」に認定されると、認定証と認定ステッカーが交付され、環境活動のPRに活用できるほか、「エコオフィスかすがい」のロゴマークを名刺やチラシ等に印刷して使用することができます。また、環境に配慮した取組みを行う事業所として市ホームページで紹介しています。2020年度末に認定されている「かすがいエコオフィス」は61事業所です。



QRコードを読み込んで春日井市HPへアクセス



認定証



認定ステッカー

地球温暖化防止啓発パネル展

【取組み内容等】

12月の「地球温暖化防止月間」に合わせて、12月11日(金)から12月17日(木)の期間にかけて「地球温暖化防止啓発パネル展」を開催しました。学校や市民団体・事業者・行政の地球温暖化防止についての取り組みの他、環境について幅広い内容を紹介しました。

また、地球温暖化防止啓発パネル展の開催に合わせて、12月13日(日)にかすがい環境賞、環境絵画コンクール春日井市長賞の表彰を行いました。

パネル展参加団体等	
1	愛知県立春日井工業高等学校(現 春日井工科高等学校)
2	中部大学応用生物学部環境生物科学科 堀部研究室
3	かすがい環境まちづくりパートナーシップ会議・春日井市
4	中部電力パワーグリッド株式会社 春日井営業所
5	東邦ガス株式会社 春日井営業所
6	パナソニック エコシステムズ株式会社
7	多治見市・sobolon



中部電力パワーグリッドの展示



環境絵画コンクール入賞作品展

【取組み内容等】

自動車の利用にかかる二酸化炭素の排出量の削減に向け、12月17日(木)に「グルッポふじとう」でエコドライブ講習会を開催しました。

教習車で通常走行を行ったのち、「最初の5秒でゆったり時速20kmへ到達する、“ふんわりアクセル”」などのエコドライブの方法を学び、再び教習車でエコドライブ走行を実践し、燃費を比較しました。

多くの参加者がエコドライブ実践走行により燃費が改善し、効果を実感することができました。

また、春日井警察署による交通安全講話に加え、エコドライブが地球温暖化対策だけでなく交通安全にもつながることを学びました。

エコドライブ講習会(2020年度)

開催日	参加者	場所	内容
12月17日 (木)	市内在住・在勤者9名	グルッポふじとう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通常走行</li> <li>・エコドライブ術講話</li> <li>・エコドライブ実践走行</li> <li>・交通安全講話</li> <li>・診断結果発表</li> </ul>



エコドライブ術講話



教習車での実践走行

【取組み内容等】

市では、2020年3月に改定した「春日井市役所地球温暖化対策行動指針 2020-2030」に基づき、温室効果ガス排出量の抑制・削減に向けた職員の行動に関する取組みや、公共施設における省エネ設備の導入などの取組みを進めています。

職員の行動に関する取組みとして、2020年度は、「温対新聞」を4回発行、毎月の重点取組み項目の設定などで市職員へ周知啓発を行いました。

○温対新聞を発行

温対新聞では、温室効果ガスの削減目標や削減実績、地球温暖化に関する動向、市の取組み状況などを図表や写真、簡潔な見出しなどを用い、読み手に興味を持たせやすい工夫を行い発行・周知することで、多くの職員の行動変容を促しました。



温対新聞

○毎月の重点取組みを設定

職員の行動変容を効果的に促すため、月ごとに重点的に取り組む項目を設定し、周知を行いました。これらの取組みは家庭や事業所においても活用することができます。

重点取組み項目
<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画的な業務遂行で、時間外勤務の削減と省エネを両立</li> <li>・近隣階への階段利用(2UP-3DOWN)</li> <li>・3R(リデュース・リユース・リサイクル)を意識したゴミの分別の徹底</li> <li>・エアコンの使用効率の向上(フィルターの清掃、吹き出し口に荷物を置かない) 等</li> </ul>



QRコードを読み込んで春日井市HPへアクセス

### (3) 地域環境の整備及び改善

## レンタサイクルの利用促進

基本施策Ⅲ-1

#### 【取組み内容等】

放置自転車を活用した自転車を市内 6 か所に計 31 台設置し無料で貸し出しています。自動車の使用を抑制し、環境にやさしい交通手段を利用するライフスタイル転換の一つとなっています。



QRコードを読み込んで  
春日井市HPへアクセス

#### レンタサイクル設置場所(2020年度)

	設置場所	台数
1	市役所正面玄関	6台
2	JR 春日井駅北口自転車等駐車場	13台
3	中央公民館	2台
4	レディヤンかすがい	2台
5	総合福祉センター	2台
6	JR 勝川駅東自転車等駐車場	6台



レンタサイクル

## 次世代モビリティの活用

基本施策Ⅲ-1

#### 【取組み内容等】

多様な移動手段の確保を目的に、市と名古屋大学が連携し、高蔵寺ニュータウンを舞台に「AI オンデマンド乗合サービス」などの実証実験を実施しました。

2020年10月～2021年2月にかけて実施したAI オンデマンド乗合サービスの実証実験では、新型コロナウイルス感染症による影響もありましたが、81名の方の利用があり、計386件の輸送がありました。

また、石尾台地区内で、電動で自動走行する「ゆっくりカート」を活用した実証実験を、2020年11月に自動運転で行い、地区内を低速度で走行しました。

「AI オンデマンド乗合サービス」や「ゆっくりカート」は、新たな移動手段の確保の他、二酸化炭素排出量の削減にもつながることから、今後も実証実験を継続していきます。



QRコードを読み込んで  
春日井市HPへアクセス



AI オンデマンド乗合サービス



ゆっくりカート

【取組み内容等】

市では、家庭でできる地球温暖化対策や節電対策、ヒートアイランド対策として有効な「緑のカーテン」の普及啓発に取り組んでいます。

また、広く市民に普及啓発するため、公共施設 78 施設、2020 年度よりかすがいエコオフィス認定事業所7施設に緑のカーテンを設置する他、市のホームページにて啓発を実施しました。



QRコードを読み込んで  
春日井市HPへアクセス

緑のカーテン設置施設(2020 年度)

○公共施設

市役所本庁舎、清掃事業所、浄化センター、  
子どもの家、ふれあいセンター、公民館、  
保育園、市民病院、消防署、小中学校など  
計 78 施設



清掃事業所

○かすがいエコオフィス認定事業所

大垣共立銀行 春日井支店
東濃信用金庫 小野支店
株式会社ウエダ
株式会社エージック
株式会社 TDS
株式会社ビクター化学工業所
株式会社服部工務店



大垣共立銀行 春日井支店

(4) 循環型社会の形成

ごみの減量と資源化の普及・啓発

【取組み内容等】

① 環境のことを考えたエコクッキング教室をエコメッセフェスタ(29 ページ参照)やかすがい環境まちづくりパートナーシップ会議(30 ページ参照)主催のイベントとして開催していましたが、2020 年度は、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、中止となりました。

過去の開催では、「買い物」ではマイバッグを持参し、地産地消を心がけ、必要な分だけ買う。「料理」では食材とエネルギーの無駄をなくす。「片付け」では生ごみは水気を切ってから捨てるなど、料理を通してごみの減量や環境について学ぶことができました。



エコクッキング教室





エコクッキングでの試食




② 青空教室:26 ページ(環境基本計画 具体的取組み番号 184)をご覧ください。



## 第2節 適応策（気候変動の影響に対処する取組み）

### (1) 健康（熱中症対策）

メール・ホームページなどによる情報提供、注意喚起		分野別施策 1									
<p>【取組み内容等】</p> <p>子育て情報発信サイト「春日井ハッピーママズ」や、安全安心メールを通じて熱中症の注意喚起メールを送信するほか、市ホームページを通じた情報提供を行いました。</p> <p>※安全安心メール:「春日井市安全安心情報ネットワーク」に情報配信登録をされた方に気象情報(気象、地震、避難情報)などをメールで配信</p> <p>メールでの注意喚起(2020年度)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>回数</th> <th>登録数(2020年度末)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>春日井ハッピーママズ(随時配信)</td> <td>18回</td> <td>885件</td> </tr> <tr> <td>安全安心メール(随時配信)</td> <td>46回</td> <td>24,536件</td> </tr> </tbody> </table>			回数	登録数(2020年度末)	春日井ハッピーママズ(随時配信)	18回	885件	安全安心メール(随時配信)	46回	24,536件	 <p>ハッピーママズ</p>  <p>安全安心メール</p> <p>QRコードを読み込んで 春日井市HPへアクセス</p>
	回数	登録数(2020年度末)									
春日井ハッピーママズ(随時配信)	18回	885件									
安全安心メール(随時配信)	46回	24,536件									

出前講座の実施		分野別施策 1
<p>【取組み内容等】</p> <p>学校等各種団体の依頼により、熱中症の概要と予防策についての知識を深めるための熱中症予防講話を実施していましたが、2020年度は、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、中止となりました。</p> <p>2018年度は6回実施し、368人の参加、2019年度は11回実施し、533名の参加があり、気候変動の影響に対する取組みを学びました。</p>		 <p>QRコードを読み込んで 春日井市HPへアクセス</p>
<p><b>(1) 暑さ対策</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生活環境の改善 (エアコンや扇風機を上手に使う) ⇒室温を28℃以下にする</li> <li>暑さを避ける</li> <li>冷却グッズ</li> </ul> 	<p>月別搬送人員（春日井市）</p> 	
<p>こんな日、場所では要注意</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>気温が高い</li> <li>湿度が高い</li> <li>風が弱い</li> <li>日差しが強い</li> <li>照り返しが強い</li> <li>熱いものがそばにある</li> <li>急に暑くなった</li> </ul> 	<p>熱中症を知る 3</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>どんな時におきるかって？</li> <li>○気温や湿度が高くなる</li> <li>○10時から16時が多い</li> <li>○体調の悪い人</li> <li>○体力が落ちているとき</li> <li>○長時間の運動</li> <li>○ランニング・ダッシュの繰り返し</li> </ul> 	
<p>熱中症予防講話で使用したスライドの一部</p>		

【取組み内容等】

熱中症対策として市が実施する夏季の屋外イベント等にドライミスト扇風機を設置しました。

ドライミスト扇風機の貸出実績(2020年度)

貸出期間	使用日数	場所	イベント名
6月9日(火) ~ 8月4日(火)	14	交通児童遊園	施設利用者向けに稼働
8月5日(水)	1	市役所	打ち水
8月6日(木) ~ 8月15日(土)	7	交通児童遊園	施設利用者向けに稼働
8月15日(土) ~ 8月16日(日)	2	市民会館	夕涼みシネマ
8月18日(火) ~ 9月19日(土)	23	交通児童遊園	施設利用者向けに稼働
9月25日(金) ~ 9月29日(火)	5	押沢台小学校	運動会
9月30日(水) ~ 10月2日(金)	3	交通児童遊園	施設利用者向けに稼働

ドライミスト扇風機の紹介

細霧冷房

暑さ対策/ヒート  
アイランド抑制効果

細冷ミスト噴霧により周囲の  
温度を屋内外ともに5度以上低  
下！猛暑、ヒートアイランド対  
策に効果を発揮！

清涼・癒し

体感と視覚による清涼

気化熱の作用により外気・体感  
温度が下がり、肌にミストが付着  
するとスッと涼しくなる清涼感は  
抜群！体感だけではなく視覚から  
の清涼感も得ることがで  
きます。




- ・最大風速約 10m/秒の強力ファン。
- ・キャスター付きで移動が容易。
- ・100V 電源と水道水源を接続するだけで稼働。



交通児童遊園でのドライミスト活用

(2) 自然災害（洪水・内水対策）

<b>洪水ハザードマップによる情報提供・注意喚起 安全・安心メールによる情報提供・注意喚起</b>		分野別施策 2
<p><b>【取組み内容等】</b></p> <p>国・県管理河川の洪水ハザードマップと土砂災害ハザードマップ、及びため池ハザードマップを作成し、自然災害が想定される区域及び避難場所、避難経路を示しています。</p> <p>また、洪水等により避難が必要となった場合に、市ホームページ、緊急速報メール、安全安心メール※1、音声架電システム※2、Lアラート、ツイッター、広報車等様々な手段を用いて避難情報を提供しています。</p>		
 <p>洪水ハザードマップ</p>	<p>※1:安全安心メール:「春日井市安全安心情報ネットワーク」に情報配信登録をされた方に気象情報(気象、地震、避難情報等)などをメールで配信</p> <p>※2:音声架電システム:区長・町内会長・自治会長等(避難情報等を発令した地域が対象)に対し、自動音声による電話連絡を一斉に行うことができるシステム</p>	 <p>洪水ハザードマップ</p>  <p>安全安心メール QRコードを読み込んで春日井市HPへアクセス</p>

<b>雨水流出抑制施設の設置促進</b>		分野別施策 2
<p><b>【取組み内容等】</b></p> <p>大雨時の浸水被害を軽減させるため、公園や区画整理区域内に表面貯留施設や地下貯留施設を設置し、雨水流出抑制対策を推進しています。</p> <p>熊野桜佐地区雨水1号調整池が新たに完成し、2020年までに53施設が設置され、累計の貯留量は185,861立方メートルとなります。</p>		
 <p>熊野桜佐地区雨水1号調整池(施工時写真)</p>		 <p>QRコードを読み込んで春日井市HPへアクセス</p>

(3) 国民生活・都市生活（ヒートアイランド等対策）

<b>緑化の推進</b>		分野別施策 3
<p><b>【取組み内容等】</b></p> <p>緑のカーテンの推進:38ページをご覧ください。</p>		

<b>環境教育の推進、情報提供</b>		分野別施策 3
<p><b>【取組み内容等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市民環境フォーラム:13 ページ(環境基本計画 具体的取組み番号 119)をご覧ください。</li> <li>・ エコライフセミナー:14 ページ(環境基本計画 具体的取組み番号 119)をご覧ください。</li> <li>・ 市民環境アカデミー:25 ページ(環境基本計画 具体的取組み番号 181)をご覧ください。</li> <li>・ 出前講座:26 ページ(環境基本計画 具体的取組み番号 185)をご覧ください。</li> <li>・ 子ども環境アカデミー:27 ページ(環境基本計画 具体的取組み番号 185)をご覧ください。</li> <li>・ エコワールド:28 ページ(環境基本計画 具体的取組み番号 185)をご覧ください。</li> <li>・ エコメッセフェスタ:29 ページ(環境基本計画 具体的取組み番号 214)をご覧ください。</li> </ul>		

## 第4章 成果指標の進捗状況

春日井市地球温暖化対策実行計画では温室効果ガス排出量の削減に向けた施策の進捗度を客観的に点検・評価するための指標を設定しており、それぞれの進捗状況は次のとおりです。

なお、民生業務部門、運輸部門の温室効果ガス排出量の削減目標は、本市の取組みだけでなく、国、愛知県が実施する施策に協調、補完することで愛知県全体として達成を目指します。

このため、「あいち地球温暖化防止戦略2030」において設定する指標・目標値を本市の指標に用います。

### ○ 成果指標の推移

指標	単位	2013年度 (基準年度)	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2030年度 (目標値)	
<民生家庭部門> 各世帯の1か月あたりの 平均の電気使用量※1	kWh	286	269	259	276	267	246	255	246	14%削減
<民生家庭部門> 各世帯の1か月あたりの 平均のガス使用量※1	m <sup>3</sup>	27.8	27.9	26.7	26.9	25.8	25.3	25.1	23.9	14%削減
<民生業務部門> 延床面積1㎡あたりの 年間エネルギー消費量	GJ	0.31	0.30	0.29	0.24※2	0.24※2	0.25※2	—※3	0.21	32%削減
<運輸部門> 自動車1台あたりの 年間化石燃料消費量	kl	1.02	0.98	1.01	1.00	1.01	0.97	—※3	0.71	30%削減

※1 世帯の構成人数や季節等により実際の使用量と差が生じる場合があります。また、ガス使用量は都市ガス使用量を指します。

※2 各種統計データ、算定方法の見直し等により、再計算されています。

※3 2021年度末公表予定



## 皆様のご意見・ご感想をお聞かせください

本報告書に関してご意見・ご感想がございましたら、郵送、FAX、Eメールにて、市環境政策課までお寄せください。

**春日井市環境部環境政策課**

〒486-8686 春日井市鳥居松町5丁目44番地

電話：0568-85-6216 FAX：0568-84-8731

Eメール：kansei@city.kasugai.lg.jp